デジタルコードレス電話機

DC-PS8

取扱説明書

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ご使用の前に、この取扱説明書と「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、よくお読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みの上、正しくお使いください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い直しください。

本文中のマークの説明

マーク	説明
⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
Note	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ちょっと一言！	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にお申しつけください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠危険

■ 充電は、本電話機専用のDC-PS8充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

■ 電池パックの充電は、専用の電源アダプタ（HL-12/3-10E4LA）とDC-PS8集合充電器を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

■ 電池パックは、プラス［+］・マイナス［−］の向きが決められています。本電話機に接続するときは、プラス［+］・マイナス［−］の向きを確かめてください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

■ 火のそばや炎天下等の高温の場所で充電はしないでください。高温になると危険を防止する保護装置が働き充電できなくなったり、保護装置が壊れる原因となります。

■ 同梱のDC-PS8電池パックは本電話機専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

■ 本電話機に使用する電池は同梱の電池パックまたは、同一の電池パックを使用してください。

■ 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

●火の中に投入したり、加熱しない。
●直接はんだ付けしない。
●プラス［+］・マイナス［−］を針金等の金属類で短絡しない。
●水、雨水、海水、薬品等につけたり、ぬらさない。
●ネックレス等の金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない。
●火のそば、ストーブのそばなど高温の場所（80℃以上）で使用したり、放置しない。

⚠危険	■ 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
	■ 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
	■ 転倒発報機能は、電話機の電源を切っていた場合、転倒時に何らかの原因で電源が切れた場合（電源ボタンが押されたり、電話機が破損した等）、電波の状態が悪い場合、圏外にいる場合、転倒したにも関わらず電話機が傾かない場合など、いろいろな状態で動作しない場合が想定されますので、この点を十分ご理解いただき、携帯者が転倒した場合の補助手段としてお使いください。 ■ 転倒発報機能は携帯者の安全を保障するものではありません。携帯者に万一の事故や障害が発生した場合でも、一切責任は負いかねます。
	■ 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。電話機の場合は直ちに充電をやめ電池パックを外し、充電器の場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してからお買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門に至急ご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	■ 万一、電話機を落としたり、電話機や充電器を破損した場合、本電話機の場合は充電をやめて電池パックを外し、充電器の場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	■ 運航の安全に支障をきたす恐れがありますので、航空機の機内などでは電源をお切りください。
	■ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください。 ●電子機器が誤動作したりするなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。（ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器、医療用電子機器など） ●医療機関が個々にPHSの使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

■ 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、本電話機の電源を切るようにしてください。
●電波によりペースメーカの作動に影響を与える場合があります。

■ 本商品の開口部やすきまから内部に金属類や燃えやすいもの等の異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、電話機の場合は直ちに電池パックを外し、充電器の場合は直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

■ 安全のため運転中のご使用はおやめ下さい。道路交通法により、運転中の携帯電話、自動車電話、PHS の使用は禁止されています。

■ 動いている機械の近くでリモコンボックスを使用している場合は、コード類の機械への巻き込みに十分注意して下さい。大怪我の原因になります。

■ 電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。電池パックの発熱、破裂、発火等の原因になります。

■ 引火性ガスが発生する場所では電話機を絶対に充電しないでください。火災の原因になります。

■ 所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、直ちに充電をやめて、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご連絡ください。

■ 電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。

■ 電話機および充電器に水が入ったりしないよう、また濡らさないようご注意下さい。火災・感電の原因となります。
「雨天、降雪中、海岸、水辺」での使用は特にご注意下さい。

■ 万一、内部に水などが入った場合、電話機の場合は直ちに電源を切り電池パックを外し、充電器の場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店または岩崎通信機のサービス部門にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

⚠警告	■ 電話機、充電器および電源プラグのそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
	■ 本商品をごみやほこりの多い場所、鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
	■ ぬれた手で電話機を操作したり、電池パックを交換しないでください。感電の原因となることがあります。
	■ 電源プラグは、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	■ ぬれた手で充電器の電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	■ 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたりしないでください。また重いものを乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご連絡ください。
	■ 損傷した電源コードを使わないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	■ テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	■ 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。
	■ 電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となることがあります。
	■ 充電器は、必ず専用のものを使用し、それ以外のものは絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	■ 電話機を分解・改造しないでください。火災、感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご依頼ください。また改造は法律で禁止されています。（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告	■ 故障したまま使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。電話機の場合は直ちに電源を切り電池パックを外し、充電器の場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて修理をご依頼ください。
	■ 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
	■ 歩行中に電話機を操作したり見たりしないでください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。
	■ 振動・衝撃の多い場所に置かないで下さい。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
	■ 電話機をねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。
	■ 電池パックは事故防止のため、小さいお子様の手の届かない所に保管してください。
	■ 充電端子に水滴のついたまま充電しないでください。火災、故障の原因となります。
	■ 電話機用充電器の電源アダプタは、近くのコンセントに接続し、かつ容易に抜くことができるようにしてください。
	■ 充電器の電源アダプタのコードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにアダプタをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。
	■充電器の端子間は金属類でショートさせないでください。充電器本体や金属が熱くなり、火災、やけどの原因となることがあります。
⚠注意	■ 電話機および充電器のご使用にあたっては、次のことにご注意ください。 ●初めてご使用になる場合や長時間使用されなかった場合は、必ず充電して異常のないことを確認してからお使いください。 ●直射日光の当たるところ、自動車の中、暖房設備・ボイラーのそばなど著しく温度が高くなるところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

⚠注意

- 調理台のそばなどの油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、電話機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 電話機のアンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。故障の原因となります。
- 電話機のアンテナを誤って目にささないようにして下さい。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電話機の電源ボタンを切り、電池パックも取り出してください。
- 電話機および充電器の電源コードを熱器具に近づけないでください。本体やコードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差込んで下さい。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 充電器をお手入れする際は、安全のため、あらかじめ電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 充電器の上に指輪などの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。
- 雷が激しい時は、電源コードに触れないで下さい。感電の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- DC-PS8充電器による充電は周囲温度5℃〜35℃、DC-PS8集合充電器による充電は周囲温度10℃〜35℃の範囲で行ってください。正常な充電ができなかったり、故障の原因となることがあります。
- 十分充電しても使用できる時間が短くなった場合は電池パックの寿命の可能性があります。お買い求めの販売店に電池パックの交換をお申し付けください。
- 本機から送話をする時は、通話ボタンを押し、ダイヤルしてから耳に近づけて下さい。呼び出し音で衝撃を受けることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お願い

電波の特性について

■ **本電話機は電波を利用しているため、サービスエリア内であっても電波の届かないところ、電波の弱いところでは通話ができないことがあります。**

●構内モードにおいては、周囲の環境(壁、家具など)によっては使用範囲が狭くなります。
特にサービスエリアの端のほうでは、体の向きを変えたり、周囲で人が移動しただけで電波状態が変わり通話がとぎれたりすることがあります。

●公衆モードにおいては、屋内、トンネル、地下、山間部など電波の届かないところでは通話ができません。またビル内、ビルの陰などの電波の弱いところでは通話ができない場合があります。

●通話中に電波の届かないところや電波の弱いところに移動した場合は、通話がとぎれたり切れたりすることがあります。

●トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、電波が乱れて通話がとぎれたりすることがあります。

デジタル方式の特性について

■ **デジタル方式の特徴として、電波状態が悪いところであっても高品質な通話を保つことができますが、電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通話がとぎれることがあります。あらかじめご了承ください。**

盗聴について

■ **従来のアナログ方式と比べて高い秘話性を有しておりますが、電波を使用している関係上、通常の手段を越える方法がとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してご使用ください。**

移動しながらのご利用について

■ **高速で走る列車内や自動車などでは使用できません。通話するときはゆっくり歩くか、立ち止まってご使用ください。また、この電話機をご使用になるために、禁止されている場所での駐停車はおやめください。**

お願い

他の機器への影響について

■ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
■ 電話機、ファクシミリなどに近いと通話に雑音が入ったりすることがあります。
■ 補聴器などをしながらご使用になると、補聴器に雑音が入ることがあります。
■ 自動車の車種によっては、まれに車両電子機器に影響を与える場合があります。

使用場所について

■ 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。電話機が正常に動作しないことがあります。
■ 冷蔵倉庫などで電話機の使用温度範囲内であっても、出入りすることにより内部が結露して電話機が正常に動作しないことがあります。
●正常に動作しなくなったときは、電池パックを外し、十分に時間がたってから電源を入れるようにしてください。
■ 金属製家具などの近くは避けてください。
●電波が飛びにくくなります。
■ 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
●磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
●放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、使用できないことがあります。
■ 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、電話機などの寿命が短くなることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お願い

周囲の環境について

■ **電話機を設置するときは、基地局から約3m以上離してください。**
- ●基地局にあまり近い場合は、本電話機が正常に動作しないことがあります。

■ **操作をする前に電波の状態を確認して、なるべく電波の強い場所でかけてください。また、通話はなるべく電波の強い場所で行ってください。**
- ●通話をしながら移動して使える場所でも、一旦電話を切ってからかけ直すときにつながらないことがあります。

■ **使用中には充電器の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。電話機が充電できません。**

国外への持ち出しについて

■ **本電話機は日本国内でのご利用を前提としたものです。国外へ持ち出されてもご利用できません。**

防水機能について

■ **電話機はＪＩＳ保護等級3(防雨形)相当の生活防水型ですが、完全防水ではありませんので、次のことにご注意ください。**
- ●流水に当てないでください。
- ●水の中につけないでください。
- ●水滴がついたまま充電器に置かないでください。
- ●濡れたり水滴がついたりしたときは、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
- ●アセンブリ・ジャックとデータコネクタは必ずキャップをしてください。

■ **アセンブリおよびリモコンボックスは防水仕様ではありません。**

お手入れについて

■ **ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。電話機等の変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。**

■ **電池パックの充電端子が汚れたら、乾いた綿棒ややわらかい布でふき取ってください。**

お願い

ＰＨＳサービスを利用して警察(110)、消防(119)、海上保安本部(118)にかけるときは…

■ **立ち止まっておかけください。**

●警察(110)、消防(119)、海上保安本部(118)にかけるときは、通話中にお話が途切れることがないように、立ち止まってご利用ください。

■ **通話終了後に電源を切らないでください。**

●警察(110)、消防(119)、海上保安本部(118)からの呼び出しができなくなります。

■ **ＰＨＳからの通話であることをお伝えください。**

●警察(110)、消防(119)、海上保安本部(118)での対応がスムースに行えるよう、ＰＨＳからの通話であることをお伝えください。

●詳しくは各ＰＨＳ事業者にお問い合わせください。

ちょっと一言！

用語について

■ **本書で「局線」と表示されている部分は、「外線」または「回線」と同じ意味です。**

目　次

お客様へ、安全上のご注意

1　はじめに

2　準備

3　構内モードについて

4 公衆モードについて

5 トランシーバモードについて

6 さらに便利に使うには

目　次

7　ご参考に

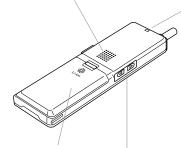
各部の名前とはたらき

セットの内容

●電話機本体	●電池パック (DC-PS8デンチパック)	●取扱説明書
		●保証書

各部の名前とはたらき

●スピーカ口
着信音、警告(報)音などの音が鳴る部分です。

●ハンドストラップ取付穴

●電池パック
DC-PS8電池パック
を装着します。

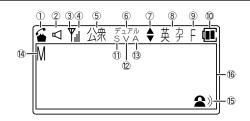
●データコネクタ部
32Kデータ通信を行う
ときに使用します。

●音量／検索ボタン(▲▼)
受話音量や着信音量、スピーカ音量
を調節します。電話帳やメニュー機
能の検索にも使用します。

●アセンブリ・ジャック
オプションのアセンブリを接
続するときに使用します。

※ダイヤルボタン(5)の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

各部の名前とはたらき

ディスプレイの見方

①電話マーク	早い点滅：基地局と制御信号のやりとりをしています。 遅い点滅：保留している相手があることを表します。 点　　灯：電話中であることを表します。
②スピーカマーク	スピーカがオンになっていることを表します。
③アンテナマーク	基地局と通信が可能なことを表します。
④電波レベルマーク	基地局から受けている電波の強さを 4 段階で表します。電話をかけるときはできるだけバーが 2 本以上立っているところで操作してください。
⑤公衆マーク	公衆モードになっていることを表します。 デュアルモードのときはPHS サービスエリア内にいることを表します。
⑥デュアルマーク	デュアルモードになっていることを表しています。
⑦スクロールマーク	▲▼で表示画面をスクロールすることができるとき点灯します。
⑧カナ英マーク	電話帳登録などの際に入力モードがカナ入力／英字入力になっていることを表します。
⑨機能マーク	機能ボタンを使った操作を行っていることを表します。
⑩電池マーク	電池残量の目安を 3 段階で表します。 電池中の表示がなくなり枠だけの表示になったら、できるだけ早めに充電するようにしてください。 電池残量警報状態になったときは電池の枠が点滅します。
⑪サイレントマーク	着信音を鳴らさない設定になっていることを表します。
⑫バイブレーションマーク	着信を振動で知らせる設定になっていることを表します。
⑬アラームマーク	時計アラームが設定されていることを表します。

⑭メッセージ表示	メッセージウェイト、着信拒否、不在転送が設定されていることを表します。 ＜待ち受け状態表示＞…（→48ページ）
⑮ 未応答通知	電話番号が通知されている電話がかかってきた場合に、電話に出られなかったときに表示されます。 このマークは着信履歴を表示する操作を行うと消えます。 ＜着信履歴＞…（→90ページ）
⑯表示部	入力されたダイヤル番号や各種の状態を表示します。

●ディスプレイに表示される文字は、この取扱説明書での表記と異なる部分があります。

ランプ表示

ランプの種類	ランプのつき方		電話機の状態
ダイヤルライト	点灯	（緑）	ダイヤルボタンなどの操作をしている
着信／充電ランプ	点灯	（緑）	充電がほぼ完了した
	点灯	（赤）	充電中
	遅い点滅	1秒（赤）	電池の異常などで充電できない
		0.5秒（赤）	温度の異常などで充電できない
	早い点滅	（赤）	電話がかかってきた

●ランプのつき方の「1秒」は1秒点灯／1秒消灯の繰り返し、「0.5秒」は0.5秒点灯／0.5秒消灯の繰り返しを示します。

2 こんなときはご利用になれません

ディスプレイの Y マークが消えているとき

サービスエリア以外の場所やサービスエリア内でも電波の弱い場所にいるために、電話をかけたり受けたりできません。

（対処方法）　Yマークが表示されるように電波状態のよい場所まで移動してください。

ｼｽﾃﾑ 1
岩崎
10 Fri 12:34

ディスプレイに「キーロック」が表示されるとき

誤操作を防止するキーロックが設定されています。

（対処方法）　キーロックを解除してください。
＜キーロックを解除する＞…（→107ページ）

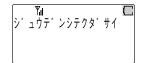
ディスプレイに「ダイヤルロック」が表示されるとき

発信を禁止するダイヤルロックが設定されています。

（対処方法）　ダイヤルロックを解除してください。
＜ダイヤルロックの解除＞…（→111ページ）

ディスプレイの □ マークが点滅しているとき

電池がなくなりかけています。このとき、ピ....ピ....ピ....…という電池残量警報音も鳴ります。

（対処方法）　電話機を充電してください。
＜電話機を充電する＞…（→21ページ）

お使いになる前に

電話機の電源を入れる

1 同梱の電池パックを装着します。

- 電池パックは下側を電話機にはめ込み、パチッと音がするまでしっかりと押してください。

2 電源(電源ボタン)ボタンを2秒以上押します。

- ディスプレイに表示がでて、ピーと音がします。

- ディスプレイの上段に表示される文字は、工事で設定できます。
- ディスプレイの中段に表示される文字は、登録モードで設定できます。
  <使用者名表示>…(→118ページ)

お願い

●電池パックはしっかりと装着してください。
不十分な場合、使用中にはずれるおそれがあります。

ちょっと一言!

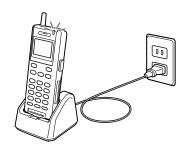
●電源を切るには電源(電源ボタン)ボタンを3秒以上押します。

電話機を充電する

充電器は必ずオプションの充電器をお使いください。
<オプション>…(→136ページ)

1 電源プラグを電源コンセント(AC100V)に差し込みます。

お使いになる前に

2 電話機を充電器に置き、10時間以上充電します。
充電器に置いたとき、充電ランプが赤く点灯することをご確認ください。

Note

- ●電話機の充電ランプは充電がほぼ終了すると緑色の点灯に変わります。
- ●充電中は充電器や電話機があたたかくなることがありますが故障ではありません。
- ●充電中は電話機の電源を入れることはできません。電話機を充電器から取り上げて電源を入れて下さい。
- ●電話機の電源が入っているときは、充電完了まで通常より長くかかる場合があります。

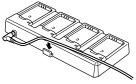
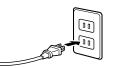
お願い

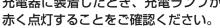
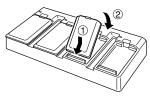
- ●はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは必ず10時間以上充電してください。
- ●電話機および充電器がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取り十分乾かしてから充電してください。
- ●充電は周囲の温度が5℃～35℃の環境で行ってください。5℃未満や35℃を超えるときは正しく充電できないことがあります。
- ●充電が正しく行われていないと、電話機の充電ランプが赤く点滅します。このときは電話機を充電器に正しく置き直してください。また電池が古くなったり壊れたりしているときにも赤く点滅します。このときは電池パックの交換が必要です。お買い求めの販売店にお申し付けください。
- ●電池残量が極めて少ない場合は、充電器に置いても充電ランプが点灯しないときがあります。電池が古くなったり壊れたりしていなければ約5分ほどで充電ランプが点灯します。

電池パックを充電する

充電器は必ずオプションの集合充電器をお使いください。
<オプション>…(→136ページ)

1 充電器用電源アダプタに電源コードをつなぎ、プラグを電源アダプタコード差込口につなぎます。

2　電源コードをフックに挟み込みます。

3　電源プラグを電源コンセント(AC100V)に差し込みます。

4　充電器に電池パックを装着し、1.5時間以上充電します。

充電器に装着したとき、充電ランプが赤く点灯することをご確認ください。

• 電池パックは下側を充電器にはめ込み、パチッと音がするまでしっかりと押してください。

Note

●充電器の充電ランプは充電がほぼ終了すると緑色の点灯に変わります。
●充電中は充電器や電池パックがあたたかくなることがありますが故障ではありません。

お願い

●電池パックはしっかりと装着してください。
●はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは必ず1.5時間以上充電してください。
●電池パックおよび充電器がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取り十分乾かしてから充電してください。
●充電は周囲の温度が10℃～35℃の間で行ってください。10℃未満や35℃を超えるときは正しく充電できないことがあります。
●充電が正しく行われていないと、充電器の充電ランプが赤く点滅します。このときは電池パックを充電器に正しく装着し直してください。また電池が古くなったり壊れたりしているときにも赤く点滅します。このときは電池パックの交換が必要です。お買い求めの販売店にお申し付けください。
●電池パックを充電する時は、充電が終了した電池パックを取り外し、充電ランプが消灯してから次の電池パックを充電してください。
充電ランプの消灯前に充電する電池パックをセットした時は正常に充電できない場合があります。

お使いになる前に

アセンブリを使用する

アセンブリは必ずオプションのアセンブリをお使いください。
<オプション>…(→136ページ)

1 **電話機のアセンブリ・ジャックにアセンブリの接続プラグを差し込みます。**
- 確実に差し込まれていることを確認してください。

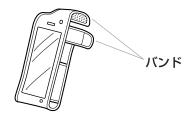
●セパレート型アセンブリの場合は、アセンブリとリモコンボックスを接続してから、リモコンボックスの接続プラグを電話機のアセンブリ・ジャックに接続してください。
●アセンブリ接続状態では、電話機本体のスピーカ／マイク／レシーバが、アセンブリのサウンダ／マイク／イヤホンに切り替わります。
●アセンブリ接続状態で音声呼出を受けている場合は、相手の声は電話機本体のスピーカから聞こえます。
また、このときにはキータッチトーンは鳴りません。
●アセンブリ接続状態では通話中のスピーカの使用はできません。
通話中でスピーカを使用しているときにアセンブリを接続した場合は、スピーカからの音声はアセンブリのイヤホンに切り替わります。

ちょっと一言!

●アセンブリおよびリモコンボックスのボタンには、設定を行うことにより、いろいろな機能を割り付けることができます。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。
●アセンブリおよびリモコンボックスのボタンは、キーロック中でも使用できます。

皮ケースを使用する

皮ケースは必ずオプションの皮ケースをお使いください。
<オプション>…(→136ページ)

1 皮ケースの2ヵ所のバンドを開きます。

2 電話機本体を皮ケースに入れて、2ヵ所のバンドを図の①・②の順に閉じます。

- 皮ケースを使用する場合は、スピーカ音量が小さくなります。
- 皮ケースを使用する場合は、誤操作防止のためキーロックを設定してください。
- 電話機本体を皮ケースに出し入れする場合は、2ヵ所のバンドを開閉してください。ただし、皮ケースの種類によって開閉の順番が異なる場合があります。
- アセンブリ接続状態で皮ケースを使用する場合は、アセンブリのケーブルをバンドで固定してください。アセンブリ・ジャックの保護になります。

お使いになる前に

モードの設定

本電話機は、お客様のご利用に合わせて次の4つの動作モードを切り替えてご使用いただけます。

1 構内モード

• システムの内線電話機としてご使用になれます。

システム 1
岩崎
10 Fri 12:34

2 公衆モード

• ＰＨＳ事業者とご契約いただくと、ＰＨＳサービスを受けることができます。

公衆
PHS
岩崎
10 Fri 12:34

3 トランシーバモード

• 基地局を介さずにトランシーバとしてご利用いただけます。

トランシーバ
岩崎
10 Fri 12:34

4 デュアルモード

• ＰＨＳサービスご加入が必要です。
• ＰＨＳサービスエリア内でも構内で使える範囲にいる場合には、ＰＨＳサービスの電話番号と構内の電話番号のどちらの着信も受けることができます。
• 電話をかけるときは構内の電話番号での発信が優先されます。ＰＨＳサービスを利用して電話をかけるときは公衆選択発信の操作を行って下さい。<PHSサービスを利用して電話をかける>…(→65ページ)

ちょっと一言!

● 公衆モードの待ち受け中にディスプレイ上段に表示される文字(お買い求め時の設定は“PHS”)、および各モードの待ち受け中にディスプレイの中段に表示される文字は(お買い求め時の設定は無し)、登録モードで設定できます。(→123,118ページ)
● 構内モードの待ち受け中にディスプレイ上段に表示される文字は(お買い求め時の設定は“システム1～9”)、工事で設定できます。

電源を入れるときにモードを決めるには…

本電話機は、ダイヤルボタンを押しながら電源を入れることによって、動作モードを選ぶことができます。

構内モードにするには

- 電源を切った状態から、(2 カ ABC)を押しながら電源(☎⏻)を約2秒間押し続けます。

システム 1
岩崎
10 Fri 12:34

公衆モードにするには

- 電源を切った状態から、(5 ナ JKL)を押しながら電源(☎⏻)を約2秒間押し続けます。
- ただしＰＨＳ事業者とご契約をされていない電話機の場合は、ディスプレイに「デ゛ータミトウロク」と表示されて動作しません。このときは電源(☎⏻)を押して電源を切ってください。

公衆
PHS
岩崎
10 Fri 12:34

トランシーバモードにするには

- 電源を切った状態から、(8 ヤ TUV)を押しながら電源(☎⏻)を約2秒間押し続けます。

トランシーバ゛
岩崎
10 Fri 12:34

デュアルモードにするには

- 電源を切った状態から、(0 ワヲン 記号)を押しながら電源(☎⏻)を約2秒間押し続けます。

●電源を入れるときに決めた動作モードの指定は電源を切ると解除されます。

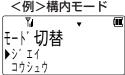
ご利用中に動作モードを変更するには…

構内では内線電話機としてご利用になっていて、外出先で公衆モードに変更するような場合、以下の手順でモードを変更します。

1 待ち受け状態で、(メニュー)(1ア)(3サDEF)(メニュー)の順に押します。

- 現在のモードが選択表示され、モードの切り替えが可能になります。

＜例＞構内モード

2 ご利用になるモードが選択されるまで、▼または▲を繰り返し押します。

3 (メニュー)を押します。

- ピピという確認音が鳴り、表示されているモードが設定されます。

Note

●待ち受け状態とは、発信、着信、通話などの操作を行っていない状態のことです。このときディスプレイには、登録された文字や数字が表示されます。
●ＰＨＳ事業者とのご契約をされていない電話機は、構内モードとトランシーバモードのみの切り替えになります。
●動作モードの変更は電源を切っても記憶されます。

電話番号の確認

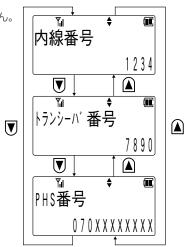
お客様の電話機に登録された電話番号を表示します。
電話番号には、内線電話番号、ＰＨＳ電話番号、トランシーバ番号の３つがあります。

1 待ち受け状態で、（メニュー）（０ワラン記号）の順に押します。

2 （メニュー）を押します。

- ディスプレイに、そのときの動作モードにおける電話番号が表示されます。

3 ▼または▲を押して次のモードの電話番号を表示します。

- 登録されていないモードは表示しません。

● ＰＨＳ事業者とのご契約をされていない電話機の場合は、ＰＨＳ電話番号はありません。

● トランシーバ番号を設定していない場合は、あらかじめ工事で設定された番号が表示されます。

お使いになる前に

ファンクションボタンの機能を確認する

待ち受け状態で[キー表示]ボタンに続けて表示したいファンクションボタンを押します。ディスプレイにそのファンクションボタンの機能が2秒間表示されます。

●電話機のデータ設定で、[キー表示]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
なお、お買い求め時には(機能)+(# マナー)でも利用できます。

電池残量の確認

電池残量はディスプレイに表示されます。電池残量は目安の表示です。

(電池表示:満)	十分残っています。
(電池表示:中)	まだ使えます。
(電池表示:空)	少なくなってきています。できるだけ早く充電してください。

電波の状態の確認

電話をかけたり受けたりすることができる状態のとき、ディスプレイに マークが表示され、4段階で基地局の電波の強さを表します。

●電波の弱い場所では、電話をかけたり受けたりできない場合があります。
●電波の強い場所でも自動的に基地局などに登録動作を行っているために、電話を受けることができない場合があります。

現在の日付と時刻を設定する

電話機が内蔵する時計の日付と時刻を設定します。
（時刻を設定しないとアラーム機能などが正しく動作しません）

1 待ち受け状態で、(メニュー)(5 ナ JKL)(1 ア)の順に押します。

メニュー：51
時刻設定
セッテイ→メニュー

2 (メニュー)を押します。

2008/01/01
00:00
セッテイ→メニュー

3 現在の日付と時刻を入力します。

- 年→月→日→時刻の順に入力します。
- (＊ロック)、(＃マナー)でカーソルの移動ができます。
- 時刻は24時間制です。

2008/02/01
15:00
セッテイ→メニュー

4 (メニュー)を押します。

- 設定が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

日付時刻
設定しました

●電池が消耗した場合や電池交換時に時刻は初期状態に戻ります。そのときは、再度設定してください。
●時計の精度は、月差約60秒です。

お使いになる前に

メニュー機能の操作

各種機能の設定を選ぶにはメニュー番号で選ぶ方法と、メニューを検索して選ぶ方法があります。

メニュー番号で選ぶには

【例】 メニュー番号52(クイック通話)の場合

1 **待ち受け状態で、(メニュー)(5)(2)(メニュー)の順に押します。**
- メニュー番号52を押すとクイック通話の設定画面が表示されます。

2 **設定する内容を選び(メニュー)を押します。**
- 待ち受け状態に戻ります。

検索して選ぶには

【例】 メニュー番号52(クイック通話)の場合

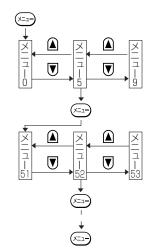
1 **(メニュー)を押します。**

2 **▼または▲を押して希望のメニューを表示させます。**

3 **(メニュー)を押します。**

4 **▼または▲を押して希望のメニューを表示させます。**

5 **(メニュー)を押します。**
- クイック通話の設定画面が表示されます。

6 **設定する内容を選び(メニュー)を押します。**
- 待ち受け状態に戻ります。

● (メニュー)のかわりに(クリア)を押すとひとつ前の画面に戻ることができます。
● メニューの表示内容一覧は「メニューボタンで設定できる機能の一覧」をご覧ください。(→126ページ)
● (☎)を押すとメニュー機能の操作を中止することができます。

3 構内モードの基本的な使い方

構内モードの利用

本電話機は、システムの主装置に接続された基地局を介して、内線電話機としてご利用いただけます。

モードの設定

- 構内モードまたはデュアルモードに設定してお使いください。

使える事業所（システム）の数

- 本電話機は最大9ヵ所の事業所(システム)に登録できます。

事業所（システム）の選択

- 事業所(システム)間を移動したときは自動的に切り替わります。
- 2ヵ所以上の事業所(システム)のサービスエリアが重なっているときは以下のように選択します。

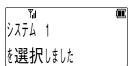
1 待ち受け状態で、(メニュー)(1ア)(2カABC)の順に押して「システム選択」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

- 現在選択しているシステムの名称を表示します。

3 ▼または▲を押して登録されているシステムを選択します。

4 (メニュー)を押します。

- ピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

3 構内モードの基本的な使い方

ちょっと一言!

●「ジドウ」を選択すると登録されているシステムの中から、自動的にシステムを選択します。

通話できる範囲からはずれたとき

- 「自営圏外通知」を設定すると、エリア外となったときに音で確認できます。

ファンクションボタンについて

- 設定を行うことにより、いろいろな機能を割り付けることができます。

ディスプレイ表示

- 主装置のサービス機能を利用するときに各種サービス機能の状態が表示されます。

着信音の識別

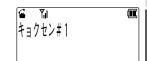
- 内線からの着信や局線からの着信を音で識別できます。

局線発信

充電器から取り上げて発信する

1 電話機を充電器から取り上げて(☎)を押します。

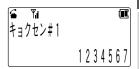
2 局線グループアクセス番号をダイヤルします。

• ツーという発信音を確認してください。

3 相手の電話番号をダイヤルします。

• しばらくすると相手を呼び出している音が聞こえます。

4 相手が応答したら通話ができます。

• ディスプレイの1行目に通話時間を表示します。

5 通話が終わったら(☎⓪)を押します。

Note

●局線グループアクセス番号をダイヤルするかわりに、局線アクセス番号をダイヤルすることにより局線を捕捉することもできます。

●局線グループアクセス番号および局線アクセス番号の主装置のデータ設定については、お買い求めの販売店にご相談ください。

●使用する局線(グループ内のすべての局線)が使用中の場合は、プー..プーという話中音が聞こえます。このようなときは、しばらく待ってからかけ直してください。

ちょっと一言!

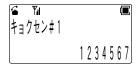
●主装置で「空局線自動捕捉」機能の設定をすると、(☎)を押すだけで局線を捕捉することができます。<空局線自動捕捉>･･･(→57ページ)

●16桁をこえるダイヤルを入力したときは下16桁を表示するとともに、左端の桁が点滅して16桁をこえていることを示します。

構内モードの基本的な使い方

電話番号を確認して発信する(プリセットダイヤル)

1 待ち受け状態であることを確認して、使用する局線グループアクセス番号に続けて相手の電話番号をダイヤルします。
【例】局線グループアクセス番号が0で相手の電話番号が1234567のとき

2 (☎)を押します。
• しばらくすると相手を呼び出している音が聞こえます。

3 相手が応答したら通話ができます。

4 通話が終わったら(☎⓪)を押します。

Note

●主装置で「プリセットダイヤル」の設定をする必要があります。
●ダイヤルを途中でやめると、約6秒後に待ち受け状態の表示にもどります。
●PBXなどの交換機に接続した局線のときは「局線発信番号」をダイヤルしてから相手の方の電話番号をダイヤルしてください。PBXの種類によっては発信できない場合があります。

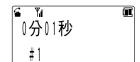
ちょっと一言!

●ダイヤル途中で(☎⓪)を押すと、それまでに入力したダイヤルがすべて消えますので、入力途中の間違いに気がついたときなどにお使いください。

局線着信

外から電話がかかってくると、主装置の設定で「局線着信鳴音指定」が設定されている電話機の場合、着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

1 電話機の着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

2 電話機を充電台から取り上げて、(☎)を押します。

3 相手と通話ができます。

4 通話が終わったら(☎⓪)を押します。

ちょっと一言！

●(☎)以外で応答する場合<エニーキー応答>･･･(→119ページ)
「エニーキー応答」が設定されていると、電話がかかってきて着信ランプが点滅しているときにダイヤルボタンを押すことで通話ができます。

●主装置で「局線着信鳴音指定」が設定されている電話機の場合、着信のときに相手方の電話番号を表示することができます。

●「クイック通話」が設定されていると電話機を充電台から取り上げた後、(☎)を押さなくても相手との通話ができます。<クイック通話>･･･(→117ページ)

●着信音が鳴っているとき(☎⓪)を押すと、その着信に関してのみ着信音およびバイブレーションを止めることができます。

●NTT(日本電信電話)のネーム・ディスプレイサービスを契約されていて、相手の方から発信者名が通知されている場合は、相手の方の名称がディスプレイに表示されます。ただし、相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

●ネーム・ディスプレイサービスを契約されていて相手の方から発信者名が通知されている場合、ディスプレイの表示は以下のようになります。

3 構内モードの基本的な使い方

発信者名が8文字以内の場合

相手の方の発信者名と電話番号が表示されます。

発信者名が8文字を越える場合

相手の方の発信者名が表示されます。

#マナーを押すとディスプレイ下部に相手の方の電話番号が表示されます。

相手の方にお待ちいただく

通話を一時中断して相手の方に待っていただくときには保留します。相手の方へは保留音が流れます。

1　通話中の相手の方に待っていただくように伝えます。

2　[保留]ボタンを押します。

- 相手の方には保留音が流れます。
- 電話マークがゆっくり点滅します。

3　もう一度[保留]ボタンを押せば、保留していた相手の方と再び通話することができます。

- 電話マークが点灯します。

- ●電話機のデータ設定で、[保留]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。なお、お買い求め時には(機能)+(1ア)でも利用できます。
- ●[保留]ボタンを押して保留したままでしばらくすると、ディスプレイの電話マークが点滅したまま待ち受け状態に戻ります。このときは再度(☎)を押してから[保留]ボタンを押してください。保留していた相手の方と再び通話することができます。
- ●20秒以上保留した場合は、(☎⓪)を押してから再応答する必要があります。
- ●保留した電話は他の電話機でとることはできません。

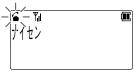
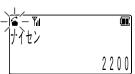
構内モードの基本的な使い方

電話を他の人にまわす(保留転送)

外線通話や内線通話を他の内線電話機に転送することができます。

1 通話中の相手の方に待っていただくように伝えます。

2 [転送]ボタンを押します。

- 相手の方には保留音が流れます。
- 電話マークがゆっくり点滅します。

3 通話を取り次ぎたい内線電話機の内線番号をダイヤルします。

4 内線の相手が応答したら、転送する旨を伝えてから(☎)を押します。

ちょっと一言!

● [転送]ボタンを押して転送先のダイヤルをしないでいると、ディスプレイに「リコール」と表示され、呼出音が鳴ります。このときは(☎)を押してください。再び元の人と通話できます。

Note

● 主装置および電話機のデータ設定で、[転送]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。

短縮ダイヤルで電話をかける

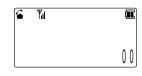
本電話機では、一般のボタン電話機と同じようにシステム短縮ダイヤルを利用できます。

1 電話機を充電台から取り上げて（☎）を押します。

ナイセン

2 [短縮]ボタンに続けて、システム短縮ダイヤルの短縮番号を押します。

- 使用するシステムで決められた短縮番号を入力してください

3 システム短縮ダイヤルに登録されている電話番号が表示されます。

Note

●主装置および電話機のデータ設定で、[短縮]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。

ちょっと一言！

●システム短縮ダイヤルの短縮番号の登録および変更は、主装置へのデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

構内モードの基本的な使い方

内線通話

内線を呼び出す

1 電話機を充電器から取り上げてを押します。

ナイセン

2 内線番号をダイヤルします。

- しばらくすると相手を呼び出している音が聞こえます。

3 相手が応答したら通話できます。# マナーを押すと声で呼び出すことができます。

4 通話が終わったらを押します。

Note

●相手の電話機の種類により音声呼出ができない場合があります。

内線の呼び出しに応答する

1 電話機の着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

2 電話機を充電器から取り上げて（通話ボタン）を押します。

3 電話をかけてきた相手と通話できます。

4 通話が終わったら（終話ボタン）を押します。

内線の音声呼出に応答する(ハンズフリー応答)

内線の音声呼出を受けたとき、マイクをONにしておくとハンズフリー応答することができます。
マイクの設定は待ち受け状態、または音声呼出を受けているときにできます。

マイク ON の設定

1 [マイク]ボタンを押します。
または、(機能)(機能)(6)(1)の順に押します。

マイクを OFF にするとき

1 [マイク]ボタンを押します。
または、(機能)(機能)(0)(6)(1)の順に押します。

Note

● [マイク]ボタンを使用するには主装置および電話機のデータ設定で、[マイク]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
● 電話機のマイクから約50cm以内を目安にお話ください。

構内モードの基本的な使い方

転倒発報

電話機を携帯している人(以下、携帯者)が不慮の事故等で転倒した場合に、事前に設定された転倒発報着信専用電話機に最優先で自動発信することができます。
また、転倒していない場合でも手動でボタンを押し続けることにより、即時に転倒発報着信専用電話機に発信する機能もあります。

お願い

●電話機の電源を切っていた場合、転倒時に何らかの原因で電源が切れた場合(電源ボタンが押されたり、電話機が破損した等)、電波の状態が悪い場合、圏外にいる場合、転倒したにも関わらず電話機が傾かない場合など、いろいろな状態で動作しない場合が想定されますので、この点を十分ご理解いただき、携帯者が転倒した場合の補助手段としてお使いください。
●本機能は携帯者の安全を保障するものではありません。携帯者に万一の事故や障害が発生した場合でも、一切責任は負いかねます。
●転倒発報機能は必ず構内モードでご使用ください。
デュアルモード、公衆モードおよびトランシーバモードでは使用できません。

Note

●転倒発報をご利用いただくためには電話機のデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

ちょっと一言!

●電話機の状態がいかなる場合でも、全てをキャンセルして発信を行います。
●転倒発報を実行中(転倒発報音鳴音中)は、電話機の電源を切る以外の操作は無効になります。
●転倒発報機能は、電話機の電源を切るまで継続します。
●転倒発報着信専用電話機が通話中の場合は、3秒間後に再発信を行います。
●発信時に空いているチャネルがないときには、待ち受け状態に戻りしだい再発信を行います。
●転倒発報着信専用電話機が応答した後に通話が切れてしまった場合は、一定時間(転倒発報再開間隔)後に再発信を行います。
●キーロック中の場合でも[発報キャンセル]、[転倒検出ON／OFF]ボタンは有効です。
●マナーモードで確認/警告音がOFFに設定されている場合でも、転倒発報予告音および転倒発報音は鳴音します。

自動転倒発報

携帯者が転倒して電話機の傾きが約50度になると転倒検出状態になります。

1　一定時間(転倒検出時間)転倒状態が続いていることを監視します。

2　転倒発報予告音が鳴り、携帯者に転倒発報を行うことを知らせます。

3　転倒発報予告音が一定時間鳴ったあとに、転倒発報着信専用電話機に自動発信します。

- 発報中は転倒発報音(6秒間隔)が鳴ります。

4　転倒発報着信専用電話機に電話がかかり、携帯者の電話機の内線番号を表示します。

Note

●転倒検出時間、転倒発報予告音鳴音時間は電話機のデータ設定が必要です。

ちょっと一言!

●転倒検出時間内に転倒状態が解除された場合は転倒発報を行いません。
●転倒発報予告音が鳴り始めた後は、転倒状態が解除されても転倒発報は継続します。

手動転倒発報

携帯者の操作により転倒発報を行います。

1　[発報キャンセル]ボタンを3秒以上押し続けます。

2　転倒発報着信専用電話機に自動発信します。

- 発報中は転倒発報音(6秒間隔)が鳴ります。

3　転倒発報着信専用電話機に電話がかかり、携帯者の電話機の内線番号を表示します。

3 構内モードの基本的な使い方

●電話機のデータ設定で、[発報キャンセル]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。

ちょっと一言!

●手動転倒発報の場合は転倒発報予告音は鳴りません。
●発信先は自動転倒発報と同じです。

転倒発報をキャンセルする

携帯者の操作により転倒発報をキャンセルすることができます。

1 転倒発報予告音が鳴っている間に[発報キャンセル]ボタンを押します。

• 転倒発報予告音が停止し、転倒発報がキャンセルされます。

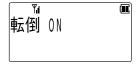
ちょっと一言!

●転倒発報を実行中(転倒発報音鳴音中)はキャンセルできません。
●転倒発報予告音が鳴っている間に[発報キャンセル]ボタンを3秒以上押し続けた場合は、手動転倒発報となります。

転倒発報ON／OFF切替

転倒発報機能の有効／無効を切り替えることができます。

1 [転倒検出ON／OFF]ボタンを2秒以上押します。

• 最初に現在の動作状態が表示され、2秒後に動作状態が切り替わります。

お願い

●転倒発報機能を無効(転倒　OFF)に設定した場合は、転倒しても発信は行われません。
携帯者が危険な場所に出る場合は、必ず転倒発報機能の動作状態を確認してください。

Note

●電話機のデータ設定で、[転倒検出ON／OFF]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
●電話機のデータ設定で、電源を入れたときの転倒発報機能の動作状態を選ぶことができます。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

ちょっと一言!

●[転倒検出ON／OFF]ボタンを押す(2秒以下)ことにより、現在の転倒発報機能の動作状態が確認できます。
●転倒発報予告音が鳴り始めた後は、転倒発報機能の有効／無効を切り替えることはできません。
●転倒してから転倒検出時間内に「転倒　ON」から「転倒　OFF」に切り替えた場合は、発信は行われません。
●「転倒　OFF」から「転倒　ON」に切り替えた場合は、その時点から転倒状態の監視を始めます。
(切り替えたときに転倒状態の場合は、自動転倒発報に切り替えた時点から転倒状態の監視を始めます。)

構内モードのさらに便利な使い方

機能特番

一般のボタン電話機では、(機能)＋「特番」の操作で、機能キーが割り付けられていないときでもシステムのいろいろな機能がご利用になれますが、本電話機でも以下の操作で機能キーの割り付けなしにシステムの機能がご利用になれます。
一般のボタン電話機の場合：　(機能)＋「特番」
本電話機の場合：　(機能)＋(機能)＋「特番」
本電話機でご利用になれる機能特番は以下の通りです。

特番	機　　能	特番	機　　能
１１	フラッシュ	３４	パーク応答
１２	ショートフラッシュ	４１	タイムコール
１３	ダイヤルリバース（ＰＢダイヤル）	４２	モーニングコール
１４	秘話解除	４３	内線コールバック（呼返し）
２１	セーブナンバリダイヤル	４４	電話機パスワード
２２	メモダイヤル	４５	音声案内（伝言再生）
２３	トランクキューイング（局線予約）	６１	マイクオン
２４	タイムドトランクキューイング（局線時間予約）	061	マイクオフ
３１	グループ内代理応答	９９	自内線番号表示
３２	グループ外代理応答	＃９	キー案内
３３	個別代理応答		

待ち受け状態表示

本電話機は、構内モードでの各種待ち受け状態をディスプレイに表示します。

メッセージ表示…「M」

• メッセージウェイト、着信拒否、不在転送が設定されていることを示します。

• 右のディスプレイは待ち受け中の表示内容です。

• [メッセージ読出]ボタンを押すとメッセージ表示の詳細内容が表示されます。

M システム 1 伝言 7 Fri 3:45	M システム 1 着信拒否 7 Fri 3:45	M システム 1 不在転送 7 Fri 3:45

Note

●電話機のデータ設定で、[メッセージ読出]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
なお、お買い求め時には(機能)+(9 WXYZ)でも利用できます。

局線・内線に共通な機能

話中着信

通話中に他の電話機から呼び出しがあると着信音を鳴らすことができます。

1 通話中に他の電話機からの呼び出しがあると、プププという小さな着信音が受話口から聞こえます。

• 内線電話機からの呼び出しの場合には，ディスプレイに相手の内線番号が表示されます。
【例】通話中に内線2100の電話機から呼び出しがあったとき

チャクシン 2100

• 局線からの呼び出しの場合には呼び出された局線番号が表示されます。
【例】通話中に1番の局線に呼び出しが入ったとき

2 通話中の電話を(切)を押して終わらせると、後からかかってきた電話の着信音が鳴りますので、再度(通話)を押して応答してください。

ちょっと一言！

●通話中の通話を中断して、後からかかってきた電話に応答することもできます。
<キャッチホン>…(→50ページ)
●この機能は主装置のデータ設定が必要です。

構内モードのさらに便利な使い方

キャッチホン

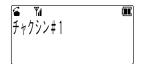
通話中にかかってきた電話にキャッチホンで応答できます。

1 通話中に他の電話機からの呼び出しがあると、プププという小さな着信音が受話口から聞こえます。

- 内線電話機からの呼び出しの場合には、ディスプレイに相手の内線番号が表示されます。

【例】通話中に内線2100の電話機から呼び出しがあったとき

- 局線からの呼び出しの場合には、呼び出された局線番号が表示されます。

【例】通話中に1番の局線に呼び出しが入ったとき

2 [キャッチ]ボタンを押すと後からかかってきた電話に出ることができます。

- それまで通話していた相手には保留音が流れます。

3 再度[キャッチ]ボタンを押すと前に通話していた相手との通話に戻ります。

- 後から電話をかけてきた方には保留音が流れます。

【例】先に通話していたのが内線2200番の方だったとき

4 [キャッチ]ボタンを押すたびに通話する相手を替えることができます。

ちょっと一言!

●通話を終わらせるときには(☎⓪)を押してください。しばらくすると着信音が鳴り、ディスプレイに「リコール」と表示されます。ここで(☎)を押すと保留していた方との通話に戻ります。
●通話していた方から先に電話を切ったときは、プーという音がしてから自動的に保留していた方との通話に戻ります。

Note

●主装置および電話機のデータ設定で、[キャッチ]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
●キャッチホン通話中に3人目の方からの電話がかかってきても、これに応答することはできません。
●キャッチホン通話中に3人目の方から電話がかかると、プププという小さな着信音が受話口から聞こえます。ここで[キャッチ]ボタンを押してキャッチホンに応答しても、最初に話していた1人目の方との通話に戻るだけで、3人目の方と通話することはできません。
● 3人目の方と通話をしたいときは(☎⓪)を押して現在の方との通話を終わらせ、着信音が鳴ったら(☎)で応答してから[キャッチ]ボタンを押してください。

構内モードのさらに便利な使い方

着信拒否

会議中などで電話がかかってきても出られない場合に、一時的に着信を拒否することができます。

着信拒否の設定

1 [DND](着信拒否)ボタンを押します。

着信拒否を解除するとき

1 [DND]ボタンを押します。

ちょっと一言!

●着信拒否を設定している電話機に電話をすると、ディスプレイに着信拒否を設定している表示が出ます。
【例】着信拒否を設定してある内線2100番の電話機に電話をかけたとき

●自分の電話機に着信拒否が設定されているかどうかは[メッセージ読出]ボタンを押して確認できます。<待ち受け状態表示>…(→48ページ)
●着信拒否の設定は電源を切っても解除されません。

●主装置および電話機のデータ設定で、[DND]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。

不在転送／話中転送／未応答転送／圏外転送

本電話機への呼び出しがあっても、そのまま他の内線電話機に転送することができます。転送モードには不在転送、話中転送、未応答転送、圏外転送の4種類があります。

●不在転送

転送先の電話番号を登録することにより、本電話機にかかってきた電話を、着信音を鳴らさずにそのまま他の内線電話機に転送することができます。

●話中転送

転送先の電話番号を登録することにより、本電話機が通話中のときにかかってきた電話を他の内線電話機に転送することができます。

●未応答転送

転送先の電話番号を登録することにより、本電話機にかかってきた電話に一定時間たっても応答しないときは、その電話を他の内線電話機に転送することができます。

●圏外転送

転送先の電話番号を登録することにより、本電話機が圏外のときにかかってきた電話を、他の内線電話機に転送することができます。

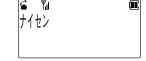
Note

●お使いのシステムによっては転送モードで圏外転送が選択できない場合があります。

転送モードの選択（転送モード切替）

転送モード切替により、不在転送／話中転送／未応答転送／圏外転送のどれか１つを選択することができます。

1 待ち受け中に（内線）を押します。

• 受話口から内線ダイヤルトーンが聞こえます。

2 [不在転送] ボタンに続けて（# マナー）を２回押します。

3 構内モードのさらに便利な使い方

3 転送モードを選択して数字で入れます。

- 不在転送は(1 ア)を、話中転送は(2 カ ABC)を、未応答転送は(3 サ DEF)を、圏外転送は(4 タ GHI)を押します。

【例】不在転送を選んだとき

フザ゛イテンソウ

【例】話中転送を選んだとき

ワチュウテンソウ

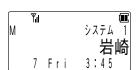
【例】未応答転送を選んだとき

ミオウトウテンソウ

【例】圏外転送を選んだとき

ケンガ゛イテンソウ

- プププという確認音が受話口から鳴り、選択された転送モードが設定されます。

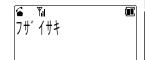
4 (☎⏻)を押して待ち受け状態に戻ります。

転送先の内線電話番号の登録・変更

1 待ち受け中に(☎)を押します。

• 受話口から内線ダイヤルトーンが聞こえます。

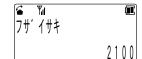
2 [不在転送] ボタンを押します。

• あらかじめ選択されている転送モードによってディスプレイの表示は以下のようになります。

「不在転送」の場合は「フザイサキ」
「話中転送」の場合は「ワチュウサキ」
「未応答転送」の場合は「ミオウトウサキ」
「圏外転送」の場合は「ケンガイサキ」

3 転送先の内線電話番号(1～4桁)をダイヤルします。

【例】転送先に内線2100番を登録するとき

• プププという確認音が受話口から鳴り、あらかじめ選択されているモード状態になります。

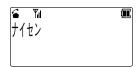
4 (☎)を押して待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言!

●転送状態の起動／解除は [不在転送] ボタンを押すごとに切り替わります。

構内モードのさらに便利な使い方

不在転送／話中転送／未応答転送／圏外転送の解除（転送先の取り消し）

不在転送／話中転送／未応答転送／圏外転送が設定されているときに

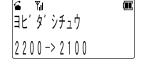
1 待ち受け中に（内線ボタン）を押します。

2 ［不在転送］ボタンを押します。

3 （＊ロック）を押します。

• プププという確認音が受話口から鳴ります。

4 （終話）を押して待ち受け状態に戻ります。

●不在転送／話中転送／未応答転送／圏外転送をするように設定されている内線電話機に電話をかけたときには、転送されたことが表示されます。

【例】内線2100番に不在転送が設定されている
内線2200番に電話をかけたとき

●不在転送／話中転送／未応答転送／圏外転送の設定は電源を切っても解除されません。

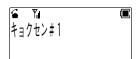
Note

●主装置および電話機のデータ設定で、［不在転送］ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。

局線に関する機能

空局線自動捕捉

空いている局線を自動的に選んで電話をかけることができます。

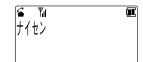
1 電話機を充電器から取り上げて(☎)を押します。

2 相手の電話番号をダイヤルします。

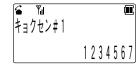
Note

●空いている局線がないときは電話をかけられません。しばらく待ってからかけ直してください。
●この機能は主装置のデータ設定が必要です。主装置データの設定および変更については、お買い求めの販売店にご相談ください。

電話会社を自動的に選んで発信する(ACR発信)

電話会社を自動的に選んで発信できます。この機能はNTT(日本電信電話)やNCC各社(KDDI、ソフトバンクテレコムなど)の複数社と契約している場合に使用できます。

1 電話機を充電台から取り上げて(☎)を押します。

2 局線グループアクセス番号または局線アクセス番号をダイヤルします。
・ツーという発信音を確認してください。

3 相手の電話番号をダイヤルします。
・ＮＴＴおよびＮＣＣ各社の中から自動的に選んで電話します。

ちょっと一言！

●ACR発信機能を利用するには主装置のデータ設定で自動ACR機能が設定されていることが必要です。

構内モードのさらに便利な使い方

局線会議通話

局線と通話中に他の内線電話機を呼び出して3者または4者で通話できます。

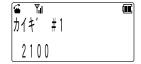
1 局線と通話中に［転送］ボタンを押します。
- 内線ダイヤルトーンが聞こえます。

2 会議に参加させたい方の内線番号をダイヤルします。

3 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。

4 ［会議］ボタンを押します。
- 会議の準備ができると局線および内線にプーというお知らせ音が聞こえます。
- この状態でさらに手順 1 から 4 の操作を行うと4者での会議ができます。

- ディスプレイの上段には局線の番号が表示されます。ディスプレイ下段の左側および右側には会議に参加している人の内線番号が表示されます。

【例】自分と局線1番、内線2100番、内線2102番の人の4者で会議をしているとき

ちょっと一言！

●主装置および電話機のデータ設定で、［転送］、［会議］ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。

フッキング

局線や主装置が接続されている上位交換機にフッキングを送出することができます。局線の場合はNTTのキャッチホンサービスなどを受けることができます。また、上位交換機のサービス機能を利用することもできます。
通話中に[フック]ボタンを短く押す(1秒以下)と局線には短いフッキングを送出します。また2秒以上押すと局線には長いフッキングを送出します。

ちょっと一言!

●電話機のデータ設定で、[フック]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
なお、お買い求め時には(機能)+(3 サ DEF)でも利用できます。
●フッキングを送出することにより利用できるサービスについてはお買い求めの販売店におたずねください。
●[フック]ボタンを押す時間で長いフッキングを出すか短いフッキングを出すかを切り替えられますが、この切り替え時間についてはデータ設定で変更することができます。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。

構内モードのさらに便利な使い方

内線に関する機能

一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し

ボタン電話機のスピーカおよび外部スピーカに一斉に呼びかけることができます。

1 **待ち受け状態で(☎)を押します。**
- 内線ダイヤルトーンが聞こえます。

2 **該当する特番をダイヤルします。**
- 電話機および外部スピーカを一斉に呼び出す場合は、「一斉呼び出し特番」をダイヤルします。
- グループ分けした電話機を一斉に呼び出す場合は、「グループ呼び出し特番」をダイヤルします。
- 外部スピーカを呼び出す場合は、「ページング呼び出し特番」をダイヤルします。

3 **「○○さん応答してください」のように呼びかけます。**

ちょっと一言！

●各呼び出しの対象となるボタン電話機と外部スピーカはあらかじめデータ設定されます。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。
●一斉呼び出し特番／グループ呼び出し特番／ページング呼び出し特番はあらかじめ主装置のデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。

内線ホットライン

ダイヤルしないで特定の内線電話機を呼び出すことができます。

1 **待ち受け状態で(☎)を押します。**

2 **設定された内線番号を自動的に呼び出します。**

ちょっと一言！

●内線ホットライン機能を使用するにはあらかじめ主装置のデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。
●呼び出し先は内線番号、パイロット番号、一斉呼び出し番号、グループ呼び出し番号、ページング呼び出し番号のどれか1つを登録できます。

4 公衆モードの使い方

本電話機は、モードを公衆モードに切り替えるとＰＨＳサービスをご利用になれます。ＰＨＳサービスをご利用になるには、ＰＨＳ事業者と加入契約が必要です。
- ＰＨＳの加入契約は電話機ごとに必要です。契約の方法については、お買い求めの販売店におたずねください。

ＰＨＳサービスの利用

ＰＨＳサービスに加入すると、この電話機を屋外に持ち出して携帯電話のように電話をかけたり、受けたりすることができます。ＰＨＳサービスに加入すると、別途基本料金とＰＨＳサービスの利用分の通話料金がかかります。
ＰＨＳサービスは、公衆基地局が設置されたサービスエリア内でのみご利用いただけます。詳しくはＰＨＳ事業者等へお問い合わせください。

ＰＨＳサービスを利用するモード

ＰＨＳサービスを利用するときはモードを「公衆モード」または「デュアルモード」に切り替えます。
- デュアルモードでお使いの場合は、公衆モードでお使いのときと比べて、電池の使用可能時間が短くなります。
- デュアルモードでは、PHSサービスエリア内で同時に構内で使える範囲にいるとき、公衆マークが表示されるとともに、ディスプレイ上段に構内システムの名称が表示されます。

```
公衆 デュアル
      システム 1
          岩崎
7 Fri   3:45
```

ＰＨＳサービスを利用して警察(110)、消防(119)、海上保安本部(118)にかけるときは

- **立ち止まっておかけください。**
  警察(110)、消防(119)、海上保安本部(118)へかけるときは、通話中にお話がとぎれることがないよう、立ち止まってご利用ください。
- **通話終了後に電源を切らないでください。**
  警察(110)、消防(119)、海上保安本部(118)からの呼び出しができなくなります。
- **ＰＨＳからの通話であることをお伝えください。**
  警察(110)、消防(119)、海上保安本部(118)での対応がスムーズに行えるよう、ＰＨＳからの通話であることをお伝えください。

詳細は各ＰＨＳ事業者にお問い合わせください。

公衆モードの使い方

ＰＨＳサービスで利用できる機能

電話帳ダイヤルで電話をかける。

構内モードのときと同じように利用できます。

再ダイヤルができる。

10件まで相手の方の電話番号を記憶できます。<発信履歴>…(→88ページ)

相手の方に待っていただく。

相手の方にはピピという音が流れ、こちらの声は聞こえなくなります。

かけてきた方の電話番号を表示したり、かけ直す。

電話番号通知が設定された電話機からかかってきた電話のとき、相手の電話番号を記憶し、後でかけ直すことができます。<着信履歴>…(→90ページ)

公衆モードを表示する。

- 公衆モードであることを、あらかじめ設定した文字や数字によってディスプレイに表示できます。
- ＰＨＳサービスエリア内に入ったことを音で通知します。

電話をかけるとき、お客さまご自身のＰＨＳサービスの電話番号を相手の方のＰＨＳ電話機等に通知する。

本電話機には、自分の電話番号をかけた相手方の電話機等のディスプレイに表示させる機能があります。

ISDN端末等にサブアドレスを送る。

<サブアドレスを通知する>…(→120ページ)

ISDN端末はふつうの電話番号に加えて端末独自の番号があります。この番号をサブアドレスといい、電話番号とサブアドレスをダイヤルすることで目的の端末だけを呼び出すことができます。公衆モードで電話をかける場合、この機能を利用することができます。

Note

●電話番号を通知するには電話番号通知を設定する必要があります。
<電話番号通知>…(→122ページ)
●ＰＨＳサービスエリア内に入ったことを知らせるためには設定操作が必要です。
<公衆圏内通知>…(→121ページ)
●ISDN端末等にサブアドレスを送るためには設定操作が必要です。
<サブアドレスを通知する>…(→120ページ)

電話をかける

1 待ち受け状態で、相手の電話番号をダイヤルします。

• 電話番号が表示されます。

2 (☎)を押します。

• 表示されている電話番号がダイヤルされます。

3 しばらくすると相手を呼び出している音が聞こえます。

4 相手が応答すれば通話できます。

5 通話が終わったら、(☎) を押して切ってください。

ちょっと一言!

●待ち受け状態で(☎)を押してから相手の電話番号をダイヤルして電話をかけることもできます。

●ISDN端末にサブアドレスを送るには、電話番号とサブアドレスの間に(＊ロック)をダイヤルします。
ISDN端末にサブアドレスを送るためには、「サブアドレス通知」を設定してください。
<サブアドレスを通知する>…(→120ページ)

●通話中にダイヤルを押すと、プッシュホンサービスをご利用になれます。

Note

●自動車電話・携帯電話とは違いますので、自動車などで高速移動中には使用できません。

●かける相手の方が市内であっても、市外局番からダイヤルしてください。

公衆モードの使い方

電話を受ける

1 待ち受け状態で電話がかかってくると、着信音が鳴ります。

- 相手の電話番号が通知されていると、相手の電話番号が表示されます。または相手の電話番号が電話機の電話帳に登録されている場合、相手の名前が表示されます。

2 を押します。

3 電話をかけてきた相手と通話できます。

●本電話機のモードが異なっていたり電源を切っていると、電話がかかってきても受けられません。

通話の保留

1 通話中に[保留]ボタンを押します。

- 相手の方には保留音が流れ、こちらの声は聞こえなくなります。

2 通話に戻るには[保留]ボタンまたはを押します。

Note

●電話機のデータ設定で、[保留]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
なお、お買い求め時には（機能）＋（1ア）でも利用できます。

●公衆モードで保留中にを押したり、クイック通話が設定されていて保留中に電話機を充電器に置くと、通話が切れてしまいますのでご注意ください。
＜クイック通話＞…(→117ページ)

PHSサービスを利用して電話をかける

デュアルモードでPHSサービスエリア内で同時に構内で使える範囲にいるとき、PHSサービスを選択して電話をかけることができます。

1 **待ち受け状態で、相手の電話番号をダイヤルします。**
- 電話番号が表示されます。

2 **(機能)を押します。**

3 **(電話)を押します。**
- 表示されている電話番号がPHSサービスを利用してダイヤルされます。

ちょっと一言!

●PHSサービスを利用して電話をかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。

トランシーバモードの使い方

トランシーバモードでは、同一の主装置に収容された電話機どうしで、基地局や主装置を介さないで通話ができます。また、トランシーバグループ登録をすることで、同じ主装置に収容されていない電話機どうしでも通話ができるようになります。
例えば、基地局の電波の届かないサービスエリア外であるとか、サービスエリア内でも基地局の無線チャネルが一杯で普通には通話のできない場合にでも、電話機どうしで通話をすることができます。

Note

- トランシーバモードで通話ができるのは2台ずつ1組です。同時に3人で会議通話のようなことはできません。
- トランシーバモードで通話をしている組が多い場合には、無線チャネルが一杯で新たに通話できない場合もあります。
- トランシーバモードで通話ができるのは、半径約100mの範囲です。ただし間に障害物などがある場合など、周囲の状況によっては通話範囲が狭くなることがあります。
- 通話中、約3分ごとに約7秒間通話が途切れますが異常ではありません。通話が途切れる約20秒前にプーという予告音が受話口から聞こえます。また通話が途切れている間は、プープー..プープー..という音が受話口から聞こえます。
- 電波状態の悪いところでお使いの場合は、まれに通話の途切れ目で切れてしまうことがあります。このときは再度呼び出してください。

トランシーバモードの番号を設定する

トランシーバモードの電話番号として、1桁から4桁の数字で1から7999までのどれか1つを本電話機で設定することができます(8000から9999までの数字は使えません)。

1 待ち受け状態で、(メニュー)(5 ナ JKL)(6 ハ MNO)の順に押して「トランシーバ番号」を表示させます。

メニュー:56
トランシーバ番号
セッテイ→メニュー

2 (メニュー)を押します。

トランシーバ番号

3 設定したいトランシーバモードの電話番号をダイヤルで押します。

• 必ず1から7999までの数字を入れてください。
【例】1234の番号を設定するとき

トランシーバ番号
1234

4 (メニュー)**を押します。**

- 正常に設定されたときはピピという音がして待ち受け状態に戻ります。
- 8000以上の番号を入れるなど正常に設定できなかったときには、ピピピピピという音がして番号入力待ちの状態に戻ります。このときは手順**3**から操作をやり直してください。

トランシーバ 番号
設定しました

ちょっと一言！

●設定されたトランシーバモードの電話番号は＜電話番号の確認＞(→29ページ)で確認できます。

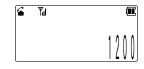
Note

●2つ以上の電話機に同じ番号を設定すると正常に呼び出しできないことがあります。絶対に同じ番号を設定しないでください。
●弊社製の電話機以外の電話機とは通話できません。

電話をかける

1 待ち受け状態から、相手のトランシーバモードの電話番号をダイヤルします。

【例】1200番の人に電話するとき

2 (電話)**を押します。**

3 しばらくすると受話口から呼出音が聞こえます。

- 相手に着信音が鳴ると、こちらに呼出音が聞こえます。

トランシーバモードの使い方

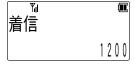
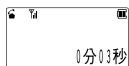
4 相手が応答すれば通話ができます。

5 通話が終わったら(電源)を押して切ってください。

●待ち受け状態で(通話)を押してから相手の電話番号をダイヤルして電話をかけることもできます。

電話を受ける

1 相手から呼び出しを受けると、着信音がなります。
【例】1200番の人から電話がかかってきたとき

2 (通話)を押します。

3 相手と通話ができます。

4 通話が終わったら(電源)を押して切ってください。

トランシーバグループ登録

トランシーバグループ登録をすることで、同じ主装置に収容されていない電話機どうしでもトランシーバ通話ができるようになります。
トランシーバグループ登録では、送信側の電話機から受信側の電話機にトランシーバグループのデータが転送されます。
また、以下の操作ではあらかじめトランシーバモードにしておく必要があります。

トランシーバグループ登録を行う

1 待ち受け状態で、(メニュー)(1ア)(7PQRS)の順に押して「Trグループ登録」を表示させます。

```
メニュー:17
Trグループ登録
セッテイ→メニュー
```

2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押して「ソウシン／ジュシン」を選択し、(メニュー)を押します。

```
Trグループ登録
▶ソウシン    (M)
 ジュシン    (S)
```

4 送信側と受信側で同じ暗証番号4桁(0000～9999)を入力します。

```
Tr暗証番号
          1234
```

5 ▼または▲を押して登録開始の「YES／NO」を選択し、(メニュー)を押します。

- 登録を開始する(メニュー)を押すときは、送信側と受信側でなるべく同時(5秒以内)に操作してください。

```
登録開始?
▶YES
 NO
```

6 登録が完了したら、(☎)を押して、待ち受け状態に戻ります。

送信側

```
Trグループ登録
送信完了しました
```

受信側

```
Trグループ登録
受信完了しました
```

トランシーバモードの使い方

- グループ登録を行うとディスプレイ上段に送信側は(M)を受信側は(S)を表示します。
- 登録に失敗したときは、手順1からやり直してください。

送信側

トランシーバ (M)
1234
7 Fri 3:45

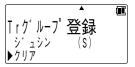
受信側

トランシーバ (S)
1200
7 Fri 3:45

トランシーバグループ登録を解除する

1 待ち受け状態で、(メニュー)(1ア)(7PQRSマ)の順に押して「Trグループ登録」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押して「クリア」を選択し、(メニュー)を押します。

Trグループ登録
クリアしました

4 トランシーバグループ登録が解除され待ち受け状態に戻ります。

トランシーバ
1234
7 Fri 3:45

Note

- トランシーバグループ登録を行うと、同一のグループ以外の電話機とはトランシーバ通話ができなくなります。
- 3台以上でグループ登録を行うときは、送信側を特定の1台にして、残りを受信側にして登録してください。

各モード共通のさらに便利な使い方

文字を入力する

文字入力のしかた

文字入力時には、「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」を入力することができます。[保留]ボタンを押して入力モードを選択し、ダイヤルボタンで希望する文字を表示させて入力します。

1 [保留]ボタンを押して入力モードを選択します。

- カタカナモード
  漢字、ひらがなおよびカタカナを入力することができます。
- 英字モード
  英字、絵文字および記号を入力することができます。
- 数字モード
  数字を入力することができます。

2 文字を入力します。

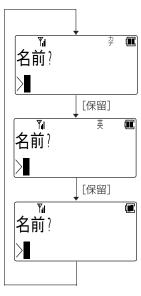
カタカナモードの場合

【例】「岩崎」と入力する場合

1. (1ア)を2回、(0ワラン記号)を1回、(3サDEF)を1回、(2カABC)を2回押します。
   - カタカナを入力したい場合は(メニュー)を押します。

2. ▼または▲で文字を変換します。
   - 漢字→全角カタカナ→半角カタカナ→全角ひらがなの順に変換されます。
   - 残り候補数が右端に表示されます。
   - 入力したい文字に変換できない場合は、(＊ロック)または(＃マナー)で変換対象を漢字1文字分にしたり、濁点や半濁点をはずしたり、読み方を変えて(音読み／訓読み)入力し直してください。

1 はじめに
2 準備
3 構内モードについて
4 公衆モードについて
5 トランシーバモードについて
6 さらに便利に使うには
7 ご参考に

各モード共通のさらに便利な使い方

3．入力したい文字が表示されたら(メニュー)を押します。
• 確定された文字が上段に移動します。

英字モードの場合

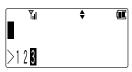
【例】「MUJO」と入力する場合

1．(6)を1回、(8)を2回、(5)を1回、(6)を3回押します。

2．(メニュー)を押します。
• 確定された文字が上段に移動します。

数字モードの場合

【例】「123」と入力する場合

1．(1)(2)(3)の順に押します。

2．(メニュー)を押します。
• 確定された文字が上段に移動します。

●電話機のデータ設定で、［保留］ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
なお、お買い求め時には(機能)＋(1)でも利用できます。

ちょっと一言！

●文字入力は文字が割り当てられているボタンを、入力したい文字が表示されるまで押してください。
入力したい文字が表示されたら、別のボタンを押すか(#マナー)を押してください。続けて同じボタン上の文字を入力するときは、(#マナー)を押してカーソルを移動させてください。
●文字入力を間違えたときは、(クリア)を押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、(クリア)を1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。

●入力文字を修正したいときは、(＊ロック)または(＃マナー)を押してカーソルを修正したい桁まで移動し、再度入力してください。
●文字入力はカーソル位置への挿入となります。ただし、入力桁数を超えた場合は最後尾から削除されます。
●文字を入力するときのカタカナ／英字／数字の各モードでの入力キーは以下の通りです。

ボタン	カタカナモード	英字モード	数字モード
(1ア)	アイウエオァィゥェォ	■ ■ ■ ■ F ♥	1
(2カABC)	カキクケコ	ABCabc	2
(3サDEF)	サシスセソ	DEFdef	3
(4タGHI)	タチツテトッ	GHIghi	4
(5ナJKL)	ナニヌネノ	JKLjkl	5
(6ハMNO)	ハヒフヘホ	MNOmno	6
(7マPQRS)	マミムメモ	PQRSpqrs	7
(8ヤTUV)	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
(9ラWXYZ)	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
(0ワヲン記号)	ワヲン゛ ゜ ー！？(空白)	ー・＆／[]＃＊(空白)	0
(＊ロック)	カーソルを左に(左ボタン)		
(＃マナー)	カーソルを右に (右ボタン)		
[保留]	英字モードにシフト	数字モードにシフト	カタカナモードにシフト
(クリア)	1文字削除		
(クリア)1秒	全文字削除		

各モード共通のさらに便利な使い方

電話帳ダイヤルでかける

以下の機能を利用するには、電話機のデータ設定で、[電話帳]および[保留]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。なお、お買い求め時には[電話帳]は(機能)+(8ヤTUV)、[保留]は(機能)+(1ア)でも利用できます。

電話帳ダイヤルに登録する

電話帳には500件の電話番号が登録できます。1件あたり、名前16文字(漢字8文字)、読み仮名6文字、ダイヤル24桁まで入力することができます。また、グループ(0～9)を選択することによりグループ登録を行うことができます。

1 待ち受け状態で、(メニュー) [電話帳] ボタンの順に押します。

- 名前入力画面が表示されます。
- [電話帳]ボタンを1秒以上押すことでも同様の操作となります。

2 登録する相手の名前を入力します。

- 「文字を入力する」を参照してください。
  ＜文字を入力する＞…(→71ページ)

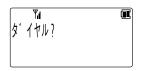
3 (メニュー)を押します。

- 読み仮名入力画面が表示されます。
- 読み仮名は名前入力時に入力された6文字までがそのまま表示されます。
- 修正する必要があるときは読み仮名を修正します。
  「文字を入力する」を参照してください。
  ＜文字を入力する＞…(→71ページ)

4 登録する相手の読み仮名を確認し(メニュー)を押します。

- 電話番号入力画面が表示されます。

5 登録する相手の電話番号を入力します。

- 入力されたダイヤルが右下から順に表示されます。

6 (メニュー)を押します。

- グループ選択画面が表示されます。

7 ▼または▲でグループを選択します。

- (0)～(9)を押すことでグループの選択を行うこともできます。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ:0
ｸﾞﾙｰﾌﾟ 0

8 (メニュー)を押します。

- 登録確認画面が表示されます。

登録しますか？
▶トウロク
シュウセイ

9 ▼または▲で項目を選択し、(メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、手順 1 に戻ります。
- 「シュウセイ」を選択した場合は、登録は行わず手順 2 に戻ります。

Note

●PBXなどの交換機に接続したアナログ外線に発信するときは、電話番号の前に外線発信番号とポーズの入力が必要となる場合があります。ただし、ポーズ入力時はPBXなどの交換機とのタイミングにより発信できない場合があります。

ちょっと一言！

●読み仮名には、「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」が入力できます。
●電話番号の入力を間違えたときは、(クリア)を押して下さい。最後の桁から1桁ずつ削除されます。また、(クリア)を1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。
●入力データ(下段)が何もないときに(クリア)を押すと前画面に戻ることができます。
●電話番号にはポーズも登録することができます。
　1．ポーズの登録は、［保留］ボタンに続けてポーズ時間を秒単位の数字1桁(1～9)で入力します。
　　ただし、先頭にポーズを登録しても無効となります。
　2．複数のポーズを続けて登録することができます。
　3．ポーズは1つでダイヤル2桁分に数えます。
●電話番号にはリモートダイヤルも登録することができます。
　1．リモートダイヤルの登録は、［保留］ボタンに続けて数字「0」(ポーズ0)を入力します。
　2．リモートダイヤルの操作は、電話帳ダイヤルで電話をかけた後、(☎)を押すとポーズ0以降のダイヤルが送出されます。
●電話帳には読み仮名または電話番号のどちらかが設定されていなければ登録できません。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

●電話帳グループにはグループ名を登録することができます。
＜電話帳グループの名前を設定する＞…(→84ページ)

●すでに500件登録されている状態で電話帳ダイヤル登録操作を行ったときは、ピピピピピという警告音が鳴り「登録できません　残り　0件」が表示されて、約2秒後に待ち受け状態に戻ります。

電話帳ダイヤルでかける

電話帳には500件の電話番号が登録できます。50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索した後、電話をかけることができます。

1 電話帳から発信する電話番号を検索します。

50音順検索の場合

1．待ち受け状態で、［電話帳］ボタンを押します。

2．目的の電話帳ダイヤルが見つかるまで、▼または▲を押します。
●検索順序は次の通りです。
①読み仮名なし
②絵文字（ ）
③空白（スペース）
④記号（！、＃、＆、＊、ー、／）
⑤数字（0～9）
⑥英字（？、A～Z、［、］、a～z）
⑦カタカナ（・、ヲ、ァ～ッ、ー、ア～ン、゛、゜）

ちょっと一言！

●電話帳ダイヤル検索中に、0～9を押すことでア行～ワ行で始まる読み仮名を検索表示します。

読み仮名検索の場合

1. 待ち受け状態で、[電話帳]ボタンを押します。

電話帳検索
読み:

2. 検索したい読み仮名を入力します。
   - [保留]ボタンを押して入力モードを選択してください。
   - 入力できる読み仮名は6文字までです。

電話帳検索
読み:イワサキ

3. ▼または▲を押します。

岩崎
0312345678

電話帳グループ検索の場合

1. 待ち受け状態で、[電話帳]ボタンを続けて2回押します。
   - もう一度[電話帳]ボタンを押すと待ち受け状態に戻ります。

電話帳検索
ｸﾞﾙｰﾌﾟ:

2. 目的のグループが見つかるまで、▼または▲を押します。
   - (0 ﾜﾌﾟﾝ 記号)～(9 ﾜﾗ XYZ)を押すことでグループの選択を行うこともできます。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ:0
ｸﾞﾙｰﾌﾟ0

3. (ﾒﾆｭｰ)を押します。

岩崎
0312345678

4. ▼または▲を押します。
   - 選択したグループ内の電話帳ダイヤルが表示されます。

鈴木
0312348765

2 (☎)を押します。

- 検索した電話番号がダイヤルされます。

鈴木

各モード共通のさらに便利な使い方

3 しばらくすると相手を呼び出している音が聞こえます。

4 相手が応答すれば、通話ができます。

●名前のみ登録されている内容を読み出した状態で(☎)を押しても操作は無視されます。
●電話帳ダイヤルに1件も登録していないときは、[電話帳]ボタンを押しても操作は無視されます。

ちょっと一言!

●どの検索方法の場合でも、検索中に▼または▲を1秒以上押し続けると、押している間はディスプレイの表示がスクロールします。
●構内モードで局線にかける場合は、相手の電話番号の前に局線アクセス番号または局線グループアクセス番号(外線発信番号)を登録しておく必要があります。
●読み仮名の入力を間違えたときは、(クリア)を押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、(クリア)を1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。
●読み仮名検索の場合で、入力した読み仮名の登録が無い場合は、その近くのデータを表示します。
●電話帳グループ検索の場合、登録が1件もないグループは表示されません。
●電話帳ロックを設定しているときは電話帳は使えません。
設定を解除してください。<電話帳ロック>…(→112ページ)
●[電話帳]ボタンを押したときに表示される検索モードは、前回操作した状態から開始されます。他の検索モードを使用したい場合はもう一度[電話帳]ボタンを押してください。

電話帳ダイヤルを修正する

50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索した後、電話帳ダイヤルを修正することができます。

1 変更したいデータを電話帳検索を行って、ディスプレイに表示します。

岩崎
0312345678

2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押して「シュウセイ」を選択し、(メニュー)を押します。

• 名前修正画面が表示されます。

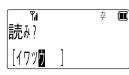
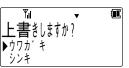
4 名前を修正し(メニュー)を押します。

【例】「岩崎」を「岩通」に修正する場合

• 文字の修正方法は「文字を入力する」を参照してください。
＜文字を入力する＞ …(→71ページ)

5 読み仮名を修正し(メニュー)を押します。

各モード共通のさらに便利な使い方

6 電話番号を修正し(メニュー)を押します。

7 グループを選択し(メニュー)を押します。

8 ▼または▲を押して「ウワガキ／シンキ／シュウセイ」を選択します。

- 「ウワガキ」を選択した場合は、元の電話帳データの上書きとなります。
- 「シンキ」を選択した場合は、元の電話帳データは修正せずに新規の登録になります。
- 「シュウセイ」を選択した場合は、登録は行わず手順 4 に戻ります。

9 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言!

●「シンキ」を選択した場合で、すでに500件登録されている場合は、ピピピピピという警告音が鳴り「登録できません　残り　0件」が表示されて、約2秒後に「上書きしますか？」の表示に戻ります。

電話帳ダイヤルを削除する

50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索した後、電話帳ダイヤルを削除することができます。また、電話帳ダイヤルの全データを消去することもできます。

登録されたデータの削除

1 **削除したいデータを電話帳検索を行ってディスプレイに表示します。**

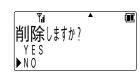
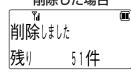
2 **(メニュー)を押します。**

3 **▽または△を押して「サクジョ」を選択します。**

4 **(メニュー)を押します。**

5 **▽または△を押して「YES／NO」を選択します。**

6 **(メニュー)を押します。**

- 「YES」を選択した場合は、ピピという確認音が鳴り内容が削除され、待ち受け状態に戻ります。

削除した場合

各モード共通のさらに便利な使い方

• 「NO」を選択した場合は、データの削除は中止され、待ち受け状態に戻ります。

中止した場合

中止しました

登録された全データの消去

1 待ち受け状態で、(メニュー)(2)(3)の順に押して「電話帳全消去」を表示させせます。

メニュー：23
電話帳全消去
セッテイ→メニュー

2 (メニュー)を押します。

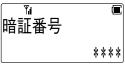
暗証番号

• 暗証番号が登録されていないときはピピピピピという警告音が鳴り、電話帳全消去をすることはできません。

暗証番号
未登録です

3 登録されている暗証番号4桁を入力します。

• 登録されている暗証番号と入力暗証番号が違うときには、ピピピピピという警告音が鳴ります。

4 (▼)または(▲)を押して「YES／NO」を選択します。

5 (メニュー)**を押します。**

- 「YES」を選択した場合は、「電話帳消去中」表示となり、しばらくしたらピピという確認音が鳴り、電話帳ダイヤルの全データが消去され、待ち受け状態に戻ります。

消去した場合

電話帳消去中

電話帳全消去
しました

- 「NO」を選択した場合は、電話帳全消去は中止され、待ち受け状態に戻ります。

中止した場合

電話帳全消去
中止しました

各モード共通のさらに便利な使い方

電話帳グループの名前を設定する

電話帳グループ(0～9)に名前を設定することができます。名前は、16文字(漢字8文字) まで入力できます。

1 待ち受け状態で、(メニュー)(5)(8)の順に押して「電話帳グループ名」を表示させます。

メニュー：58
電話帳グループ名
セッテイ→メニュー

2 (メニュー)を押します。

▶グループ0
グループ0
セッテイ→メニュー

3 ▼または▲を押してグループを選択します。

4 (メニュー)を押します。

グループ0
>

5 グループ名を修正し(メニュー)を押します。

- 文字の修正方法は「文字を入力する」を参照してください。
  <文字を入力する> …(→71ページ)

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

電話帳グループ名
設定しました

発信履歴や着信履歴の電話番号を登録する

発信履歴や着信履歴の電話番号を電話帳ダイヤルに登録することができます。

1　登録したい発信履歴または着信履歴のデータをディスプレイに表示します。

- ＜発信履歴＞…(→88ページ)
  ＜着信履歴＞…(→90ページ)

2　(メニュー)を押します。

0312345678
▶サクジョ
デンワチョウトウロク

3　▼または▲を押して「デンワチョウトウロク」を選択します。

0312345678
サクジョ
▶デンワチョウトウロク

4　(メニュー)を押します。

- 名前入力画面が表示されます。
- 以降の操作は電話帳ダイヤルへの登録と同じです。
  ＜電話帳ダイヤルに登録する＞ …(→74ページ)

- すでに500件登録されている場合にはピピピピピという警告音が鳴り、ディスプレイに表示が出て待ち受け状態に戻ります。

各モード共通のさらに便利な使い方

電話番号を組み合わせてかける

外線発信番号などと電話帳ダイヤルを組み合わせて発信することができます。

電話番号を組み合わせて発信する

【例】外線発信番号“0”と電話帳ダイヤルを組み合わせます。

1 組み合わせたいダイヤルのはじめの番号(0ワラン記号)を押します。

【例】0

2 [電話帳]ボタンを押します。

3 組み合わせたいデータを検索し表示します。

- 電話帳の検索方法は「電話帳ダイヤルでかける」を参照してください。
  <電話帳ダイヤルでかける>…(→76ページ)

4 (発信ボタン)を押します。(発信)

追加ダイヤルを組み合わせて発信する

【例】電話帳ダイヤルのあとにサブアドレスダイヤル“＊201”を追加します。

1 [電話帳]ボタンを押します。

2 組み合わせたいデータを検索し表示させます。

- 電話帳の検索方法は「電話帳ダイヤルでかける」を参照してください。
  <電話帳ダイヤルでかける>…(→76ページ)

3 (＊ロック)を押します。

• この後に押されたダイヤルが追加されます。

030
1234567890123456

4 (＊ロック)(2カABC)(0ワヲン記号)(1ア)を押します。

5 (☎)を押します。（発信）

0301234
567890123456*201

各モード共通のさらに便利な使い方

前に電話をかけた相手に再びかける（発信履歴）

以下の機能を利用するには、電話機のデータ設定で、[発信履歴] ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
なお、お買い求め時には(機能)＋(0)でも利用できます。

かけた相手に再びかける

こちらからかけた電話番号の最後の10件を記録し、その電話番号に電話をかけることができます。
電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

1 待ち受け状態で、[発信履歴] ボタンを押します。

- 発信履歴が一件も記録されていない場合は、ディスプレイに表示が出て、待ち受け状態に戻ります。

2 ▽または△を押してかけたい相手を選択します。

- 発信履歴の最大10件分が連続して表示されます。

3 (☎)を押します。

- 表示されている電話番号がダイヤルされます。

Note

● 発信履歴の電話番号は電源を切っても消えません。

ちょっと一言！

● かけた電話番号が電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。
● 同じ相手への電話は最新の1件だけが記録されます。
● 最も新しい発信履歴から順に表示されます。
● 相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。このとき(#マナー)を押すことで名前の表示と電話番号の表示を切り替えることができます。

●短縮操作で発信したときは、発信履歴には短縮番号のみ記録されるため、発信には使用できません。

発信履歴を削除する

発信履歴を検索した後に削除することができます。また、発信履歴の全データを削除することもできます。

記録されたデータの削除

1 削除したい発信履歴をディスプレイに表示します。

2 (メニュー)を押します。

- 「サクジョ」が選択されていることを確認します。

3 (メニュー)を押します。

- 削除が完了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

記録された全データの削除

1 発信履歴をディスプレイに表示します。

2 (メニュー)を押します。

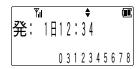
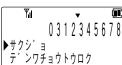
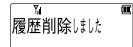
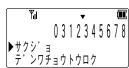
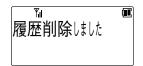
3 ▼または▲で「ゼンタイサクジョ」を選択します。

0312345678
デンワチョウトウロク
▶ゼンタイサクジョ

各モード共通のさらに便利な使い方

4 (メニュー)を押します。

5 ▼または▲を押して「YES／NO」を選択します。

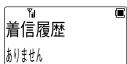
6 (メニュー)を押します。

- 「YES」を選択した場合は、ピピという確認音が鳴り、発信履歴の全データが削除され、待ち受け状態に戻ります。
- 「NO」を選択した場合は、データの削除は中止され、待ち受け状態に戻ります。

電話をかけてきた相手にこちらからかける（着信履歴）

以下の機能を利用するには、電話機のデータ設定で、［着信履歴］ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
なお、お買い求め時には(機能)＋(✱ロック)でも利用できます。

かけてきた相手にこちらからかける

電話がかかってきたときに、電話番号が通知されている場合は、その電話番号を記録します。
記録件数は最新の10件です。
電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

1 待ち受け状態で、［着信履歴］ボタンを押します。

- 着信履歴が一件も記録されていない場合は、ディスプレイに表示が出て、待ち受け状態に戻ります。

2 ▼または▲でかけたい相手を選択します。

- 着信履歴の最大10件分が連続して表示されます。

着:12日10:00
03xxxx2222

3 (☎)を押します。

- 表示されている電話番号がダイヤルされます。

Note

- ●着信履歴の電話番号は電源を切っても消えません。
- ●同時に二つ以上の電話がかかってきたときにどれかの電話に応答した場合、応答していない電話の着信履歴に[＊]は表示されず、☎))マークも表示されません。

ちょっと一言！

- ●電話番号が通知されている電話がかかってきた場合に、電話に出られなかったときは、待ち受け状態で☎))マークが表示されます。

システム 1
岩崎
10 Fri 12:34

- ●電話に出られなかった着信の着信履歴の表示には、時刻の右側に「＊」が表示されます。

- ●内線着信の場合も記録されます。
- ●非通知着信の場合は記録されません。
- ●発サブアドレスが通知されている場合には、発サブアドレスも記録されます。（区切り文字は「＊」です。）
- ●通知された電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
- ●NTT(日本電信電話)のネーム・ディスプレイサービスを契約されていて、相手の方から発信者名が通知されていた場合は相手の方の名称が表示されます。ただし、相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
- ●同じ相手からの電話は、最新の1件だけが記録されます。

各モード共通のさらに便利な使い方

- 最も新しい着信履歴から順に表示されます。
- 相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。このとき#マナーを押すことで名前の表示と電話番号の表示を切り替えることができます。
- ネーム・ディスプレイサービスを契約されていて相手の方から発信者名が通知されている場合、ディスプレイの表示は以下のようになります。

発信者名が8文字以内の場合

相手の方の発信者名が表示されます。

#マナーを押すと相手の方の電話番号が表示されます。

発信者名が8文字を越える場合

相手の発信者名の先頭の8文字が表示されます。

#マナーを押すと相手の発信者名の9文字目以降が表示されます。

着： 1日12：34
会社

着信履歴を削除する

着信履歴を検索した後に削除することができます。また、着信履歴の全データを削除することもできます。

記録されたデータの削除

1 削除したい着信履歴をディスプレイに表示します。

着: 1日12:34
0312345678

2 (メニュー)を押します。

• 「サクジョ」が選択されていることを確認します。

0312345678
▶サクジ゛ョ
テ゛ンワチョウトウロク

3 (メニュー)を押します。

• 削除が完了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

履歴削除しました

記録された全データの削除

1 着信履歴をディスプレイに表示します。

着: 1日12:34
0312345678

2 (メニュー)を押します。

0312345678
▶サクジ゛ョ
テ゛ンワチョウトウロク

3 ▼または▲を押して「ゼンタイサクジョ」を選択します。

0312345678
テ゛ンワチョウトウロク
▶セ゛ンタイサクジ゛ョ

各モード共通のさらに便利な使い方

4 (メニュー)を押します。

5 ▼または▲を押して「YES／NO」を選択します。

6 (メニュー)を押します。

- 「YES」を選択した場合は、ピピという確認音が鳴り、着信履歴の全データが削除され、待ち受け状態に戻ります。
- 「NO」を選択した場合は、データの削除は中止され、待ち受け状態に戻ります。

ワンタッチボタンでかける

ファンクションボタンにワンタッチボタン機能を割り付けて電話をかけることができます。
以下の機能を利用するには、電話機のデータ設定で、[ワンタッチ]および[保留]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
なお、お買い求め時には[保留]は(機能)+(1 ア)でも利用できます。

ワンタッチボタンで電話をかける

1 待ち受け状態から[ワンタッチ]ボタンを押します。

- しばらくすると相手を呼び出している音が聞こえます。

【例】
(F1)…ワンタッチ

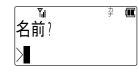
キョクセン#1
123456567

2 相手が応答したら、通話できます。

ちょっと一言!

● 構内モードで局線にかける場合は、相手の電話番号の前に局線アクセス番号または局線グループアクセス番号(外線発信番号)を登録しておく必要があります。

電話番号を登録する

1 待ち受け状態で、(メニュー)[ワンタッチ]ボタンの順に押します。

2 登録する相手の名前を入力します。

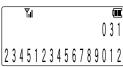
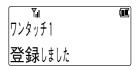
- 文字の入力方法は「文字を入力する」を参照してください。
<文字を入力する>…(→71ページ)
- 名前を登録しない時は手順 **3** に進みます。

各モード共通のさらに便利な使い方

3 (メニュー)を押します。

4 登録する相手の電話番号を入力します。

- 入力されたダイヤルが右下から順に表示されます。

5 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言!

●ワンタッチダイヤルにはダイヤルやポーズおよび(☎)を24桁まで登録することができます。
●ワンタッチボタンを押すだけで電話をかけるには、相手の電話番号の後に(☎)を登録する必要があります。
●ポーズの登録は[保留]ボタンに続けてポーズ時間を秒単位の数字1桁(1～9)で入力します。
●ポーズ時間は1つのポーズで1～9秒です。それ以上のポーズ時間を必要とするときは、続けて複数のポーズを登録してください。
●電話番号にはリモートダイヤルも登録することができます。
　1．リモートダイヤルの登録は、[保留]ボタンに続けて数字「0」(ポーズ0)を入力します。
　2．リモートダイヤルを登録すると、ワンタッチダイヤルで電話をかけた後、(☎)を押すことによりポーズ0以降のダイヤルを送出します。

登録した名前や電話番号を修正する

1　待ち受け状態で、(メニュー)[ワンタッチ]ボタンの順に押します。

2　▽または△を押して「シュウセイ」を選択し(メニュー)を押します。

• 名前修正画面が表示されます。

3　名前を修正し(メニュー)を押します。

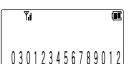
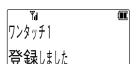
• 文字の修正方法は「文字を入力する」を参照してください。
<文字を入力する>…(→71ページ)
• 名前を修正しない場合は、手順 **4** に移ってください。

4　電話番号を修正します。

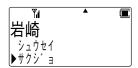
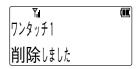
• 電話番号を修正しない場合は、手順 **5** へ移ってください。

5　(メニュー)を押します。

• 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

各モード共通のさらに便利な使い方

登録した電話番号を削除する

1 待ち受け状態で、(メニュー)［ワンタッチ］ボタンの順に押します。

2 ▼または▲を押して「サクジョ」を選択し、(メニュー)を押します。

スピーカで聞きながら電話をかける

呼出音や相手の声をスピーカで聞くことができます。

1 電話番号をダイヤルします。

2 [スピーカ]ボタンを1秒以上押します。

- スピーカマークが点灯し、スピーカから呼出音が聞こえます。

3 相手の方と話すには[スピーカ]ボタンを押し通話します。

Note

●電話機のデータ設定で、[スピーカ]ボタンをファンクションボタンに割り付けることが必要です。
なお、お買い求め時には(機能)+(4 タ GHI)でも利用できます。

ちょっと一言!

●スピーカを使用したままでは、こちらの音声が相手に伝わりません。
●通話中にスピーカを使用したい時は[スピーカ]ボタンを押します。
(押すたびにスピーカのオン/オフが切り替わります)
●スピーカ音量を調節したいときは、通話中(スピーカ使用中)に▼▲を押して調節してください。

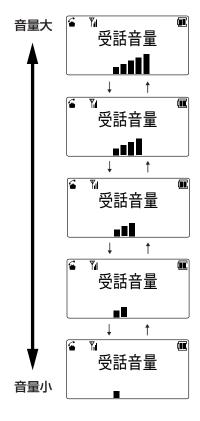
各モード共通のさらに便利な使い方

受話音量を調節する

通話をしている間に相手の声の大きさを5段階に調節できます。

1 通話中に▼または▲を押します。

2 ▼を押すと↓の方向で、▲を押すと↑の方向で順番に受話音量が変わります。

3 お好みの音量に調節した後、約2秒で元の表示に戻ります。

ちょっと一言！

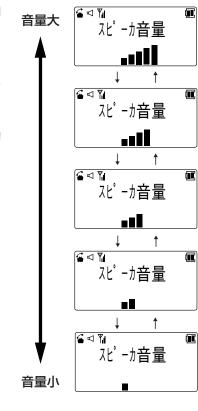
●通話を終了しても設定した音量は変わりません。

スピーカ音量を調節する

スピーカ使用中に相手の声の大きさを5段階に調節できます。

1 通話中(スピーカ使用中)に、▼または▲を押します。

2 ▼を押すと↓の方向で、▲を押すと↑の方向で順番にスピーカ音量が変わります。

3 お好みの音量に調節した後、約2秒で元の表示に戻ります。

ちょっと一言！

●スピーカの使用を終了しても、設定した音量は変わりません。

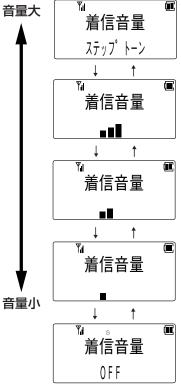
各モード共通のさらに便利な使い方

着信音量を調節する

電話がかかってきたときに鳴る着信音の大きさを3段階に調節できます。また、着信音を鳴らないようにすることもできます。

1 待ち受け状態、または着信中に▼または▲を押します。

2 ▼を押すと↓の方向で、▲を押すと↑の方向で順番に着信音の音量が変わります。

3 お好みの音量に調節した後、約2秒で元の表示に戻ります。

ちょっと一言！

●電源を切っても設定した音量は変わりません。

Note

●着信音が鳴らないように設定されているときはSマークが点灯します。
●バイブレーション着信が設定されているとき、ステップトーンはバイブレーション→小→中→大となります。
●マナーモード中はマナー設定で選択された動作に従います。
＜マナーモードの機能を選択する＞…（→105ページ）

着信の種類ごとに音をかえる

1 待ち受け状態で、(メニュー)(3)(2)の順に押して「鳴音種別選択」を表示させます。

メニュー：32
鳴音種別選択
セッテイ→メニュー

2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押して着信の種類を選択し、(メニュー)を押します。

- 現在選択されている着信音が鳴ります。

鳴音種別選択
▶ナイセン
キョクセン

4 ▼または▲を押して音の種類を選択します。

- ▼または▲を押すたびに選択された着信音がなります。

内線
▶パターン2
パターン3

5 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

鳴音種別選択
設定しました

ちょっと一言！

●設定できる着信の種類は以下の通りです。
内線着信
局線着信
PBX／CES着信
時計アラーム
公衆(PHS)着信
トランシーバ着信
ドアホン着信

●選択できる着信音は以下の通りです。
パターン1～6
ドアホン1～2
メロディ1：エンターテナー／ジョプリン
メロディ2：四季～春～／ビバルディ
メロディ3：軍隊行進曲／シューベルト
メロディ4：アビニヨンの橋の上で／フランス民謡
メロディ5：故郷の空／スコットランド民謡

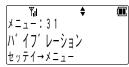
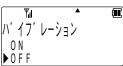
Note

●設定した電話機の着信音のみ変更されます。

各モード共通のさらに便利な使い方

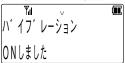
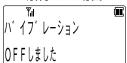
着信を振動で知らせる(バイブレーション着信)

1 待ち受け状態で、(メニュー)(3)(1)の順に押して「バイブレーション」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押してバイブレーションの「ON/OFF」を選択します。

4 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合

解除した場合

ちょっと一言!

●バイブレーションが設定されているときは、Vマークが点灯します。
●バイブレーションを設定すると、着信音量に関係なく電話がかかってきたときに振動します。
着信音がありの場合は、着信音とバイブレーションが同時に行われます。
●着信音量が「ステップトーン」でバイブレーションが設定されている場合は、一定時間(10秒)バイブレーションを行った後にステップトーンの着信音となります。この時、バイブレーションは停止します。
●マナーモードになっている場合は、マナー設定のバイブレーションの設定に従います。
<マナーモードの機能を選択する>…(→105ページ)

Note

●充電器に置いているときは、バイブレーションは行いません。
●音声呼出では、バイブレーションは行いません。

マナーモード

周囲の迷惑にならないように、着信音、確認／警告音、バイブレーションの機能をボタン一つであらかじめ設定した内容に一時的に変更します。

マナーモードを設定する

1　待ち受け状態で、(#マナー)を1秒以上押します。

• 確認音はマナー設定に従います。

SV
マナーモード
設定しました

ちょっと一言！

● マナーモードが設定されているときは、待ち受け状態でマナーマークが表示されます。
● 電源を切ってもデータは保持されます。
● マナーモード中はマナー設定に従ってSマーク、Vマークが点灯します。

SV
システム　1
岩崎
マナー　Fri　12:34

Note

● キーロック中の操作は無効です。

マナーモードを解除する

1　マナーモード状態で、(#マナー)を1秒以上押します。

• 解除が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

マナーモード
解除しました

マナーモードの機能を選択する

1　待ち受け状態で、(メニュー)(1ア)(4タGHI)の順に押して「マナー設定」を表示させます。

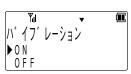
2　(メニュー)を押します。

3　▼または▲を押して着信音の「ON／OFF／オートオフ」を選択し、(メニュー)を押します。

各モード共通のさらに便利な使い方

4 ▼または▲を押して確認音／警告音の「ON／OFF」を選択し、(メニュー)を押します。

5 ▼または▲を押してバイブレーションの「ON／OFF」を選択します。

6 (メニュー)を押します。

• 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言！

●バイブレーションを設定すると、着信音量に関係なく電話がかかってきたときに振動します。着信音がありの場合は、着信音とバイブレーションが同時に行われます。
●着信音量が「ステップトーン」でバイブレーションが設定されている場合は、一定時間（10秒）バイブレーションを行った後にステップトーンの着信音となります。この時、バイブレーションは停止します。
●マナーモードになっている場合は、マナー設定のバイブレーションの設定に従います。
●着信音設定でオートオフを選択した場合は、着信音を30秒間鳴音した後に鳴音を停止させます。またこのときに新たな着信（優先度の高い着信）が発生した時は、その時点から30秒間鳴音します。

Note

●充電器に置いているときは、バイブレーションは行いません。

誤操作の防止(キーロック)

電話機を持ち歩くときなどに間違えてボタンを押してしまわないようにするには、キーロックを設定すると便利です。

キーロックを設定する

1 **待ち受け状態で、(＊ロック)を1秒以上押します。**

• キーロック設定が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言!

●キーロックの設定は、電源を切っても解除されません。
●電話がかかってきたときに、(通話)を1秒以上押すと電話を受けることができ、通話中は一時解除されます。通話を切ると再びキーロックが設定されます。
●エニーキー応答設定がONの時も、キーロックが優先されます。
●通話中にはキーロックの設定操作、解除操作はできません。
●キーロック中であっても時刻のアラーム鳴音停止、着信中の鳴音停止(クイックサイレント)を(切/電源)を押して行うことができます。

Note

●キーロック中は、ディスプレイ、ダイヤルライトの点灯はしません。
●キーロック中にボタンを押すと、ディスプレイに「キーロック」と一定時間表示されます。
●本機能は、電話機本体側のボタンのみ有効となります。
リモコンボックス側のボタンは対象外となります。

キーロックを解除する

1 **キーロック状態で、(＊ロック)を1秒以上押します。**

• キーロック解除が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

暗証番号の登録／変更

ダイヤルロック、電話帳ロックを設定／解除するために必要な暗証番号(4桁)を登録します。

1 待ち受け状態で、(メニュー)(5)(5)の順に押して「暗証番号登録」を表示させます。

メニュー：55
暗証番号登録
セッテイ→メニュー

2 (メニュー)を押します。

暗証番号

3 暗証番号が登録済みの場合は、現在の暗証番号4桁(0000〜9999)を入力します。

暗証番号
****

4 新しい暗証番号4桁を入力します。

暗証番号
新データ ****

5 新しい暗証番号4桁を確認のためもう一度入力します。

暗証番号確認
新データ ****

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

暗証番号
設定しました

- 登録済み暗証番号および暗証番号確認の入力が誤っていると、ピピピピピという警告音が鳴ります。

暗証番号
が違います

Note

●登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときに必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
●暗証番号の削除はできません。
●暗証番号を新規登録する場合は、現在の暗証番号の入力は省略されます。
●暗証番号は電源を切っても消えません。
●入力した番号は＊で表示されます。

各モード共通のさらに便利な使い方

電話をかけられないようにする(ダイヤルロック)

あらかじめダイヤルロックを設定しておきますと、他の人に電話をかけられないようにすることができます。ダイヤルロックを設定するにはあらかじめ暗証番号の登録が必要です。

ダイヤルロックを設定すると…

- 構内モード、公衆モードおよびトランシーバモードの各モードでは電話をかけることができません。(110番、119番、118番以外)
- 電話を受けることはできます。
- 電源を入れたり切ったりすることはできます。
- キーロック以外の登録操作は行えません。

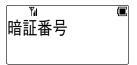
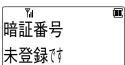
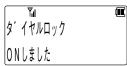
ダイヤルロックの設定

1 待ち受け状態で、(メニュー)(2カABC)(1ア)の順に押して「ダイヤルロック」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

- 暗証番号が登録されていないときはピピピピピという警告音が鳴り、ダイヤルロックを設定することはできません。

3 登録されている暗証番号4桁を入力します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

- 登録されている暗証番号と入力暗証番号が違うときには、ピピピピピという警告音が鳴ります。

暗証番号
が違います

ダイヤルロックの解除

1 登録されている暗証番号4桁を入力します。

ダイヤルロック
****

2 (メニュー)を押します。

- 解除が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

- 登録されている暗証番号と入力暗証番号が違うときには、ピピピピピという警告音が鳴ります。

暗証番号
が違います

ちょっと一言!

●ダイヤルロックの解除を途中でやめたいときには、(電源)を押してください。

●ダイヤルロック中に無効なボタンを押すと、ディスプレイに“ダイヤルロック”と表示されます。
●公衆発信時の時はダイヤルロック中でも警察(110)、消防(119)、海上保安本部(118)にかけることができます。
ダイヤルロック中にダイヤルを押すと「＊＊＊」と表示されますが、(通話)を押すとディスプレイには「110」、「119」または「118」と表示されます。
●ダイヤルロックの設定は、電源を切っても解除されません。
●キーロックとダイヤルロックが両方とも設定されているときは、キーロックを解除した後でダイヤルロックを解除してください。
●登録した暗証番号を忘れてしまったときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

各モード共通のさらに便利な使い方

電話帳を開けないようにする(電話帳ロック)

あらかじめ電話帳ロックを設定しておきますと、他の人に電話帳を開かれないようにすることができます。電話帳ロックを設定するにはあらかじめ暗証番号の登録が必要です。

電話帳ロックを設定すると…

●電話帳を開くことができなくなります。
●電話をかけたり、受けることはできます。
●電源を入れたり切ったりすることはできます。

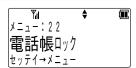
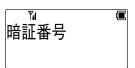
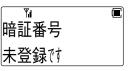
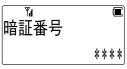
電話帳ロックの設定/解除

1 待ち受け状態で、(メニュー)(2)(2)の順に押して「電話帳ロック」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

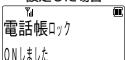
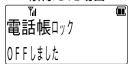
• 暗証番号が登録されていないときはピピピピピという警告音が鳴り、電話帳ロックを設定することはできません。

3 登録されている暗証番号4桁を入力します。

• 登録されている暗証番号と入力暗証番号が違うときはピピピピピという警告音が鳴り、電話帳ロックを設定することはできません。

4 ▼または▲を押して「ON／OFF」を選択します。

5 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合

解除した場合

ちょっと一言！

●電話帳ロックの解除を途中でやめたいときは、(☎⓪)を押してください。

Note

●電話帳ロック中に［電話帳］ボタンを押すと、ディスプレイに“電話帳ロック”と表示されます。
●電話帳ロックの設定は、電源を切っても解除されません。
●キーロックまたはダイヤルロックと電話帳ロックが設定されているときは、キーロックまたはダイヤルロックを解除した後で電話帳ロックを解除してください。
●登録した暗証番号を忘れてしまったときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

各モード共通のさらに便利な使い方

アラーム時刻を設定する

1 待ち受け状態で、(メニュー)(1ア)(1ア)の順に押して「時計アラーム設定」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲で時計アラーム設定の「ON／OFF」を選択します。

4 (メニュー)を押します。

- OFFが選択されているときは、ピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

解除した場合

アラーム
解除しました

5 アラーム時刻を設定します。

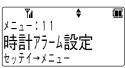
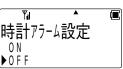
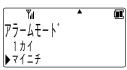
- 時刻は24時間制です。

6 (メニュー)を押します。

7 ▼または▲を押してアラームモードの「1カイ／マイニチ」を選択します。

8 (メニュー)を押します。

ちょっと一言！

- ●アラームが設定されているときは、Aマークが点灯します。
- ●アラーム音は着信鳴音種別設定で設定された音になります。
- ●アラーム音量は着信音量と同じになります。マナーモード時はマナー設定に従います。
- ●アラーム鳴音時間は1分間です。
- ●アラーム鳴音を停止するときは(☎)を押します。キーロック中でも(☎)を押すとアラーム鳴音は停止します。
- ●電源を切ってもデータは保持されます。

32Kデータ通信

32Kデータ通信用の市販アダプタなどを介してパソコンやPDA(携帯情報端末)のデータ通信が利用できます。

●PIAFS(ＰＨＳインターネットアクセスフォーラム)準拠の伝送方式を採用したデータ通信がご利用いただけます。

●発信や着信の応答は、パソコンやPDAで操作します。操作の詳細や設定については32Kデータ通信用アダプタなどの取扱説明書をご覧ください。

1 32Kデータ通信用アダプタなどを利用してパソコンなどと電話機のデータコネクタを接続ケーブルで接続します。

• 接続ケーブルのプラグは十分に奥まで差し込んでください。

2 パソコン等を使って、32Kアダプタ(データカード)等の設定を行います。

3 本電話機の32Kデータ通信の設定が自動的に行われます。

• 32Kデータ通信の設定が完了すると、ピピと鳴り、約2秒間「DATA通信OK」と表示された後、元の状態に戻ります。

DATA通信
OK

ちょっと一言!

●接続ケーブルを接続したままでも、通常の音声通話は可能です。

Note

●32Kデータ通信の発信、着信および通信中は、(☎⓪)以外の電話機での操作はすべて無効となります。

●ダイヤルロックが設定されているときは、発信できません。32Kデータ通信の発信をするときは、あらかじめダイヤルロックを解除してください。

●デュアルモードで自営と公衆に同時に待ち受けているときの32Kデータ通信の発信は内線電話機からの発信となります。PHSサービスを利用して発信したい場合は公衆モードにしてから発信してください。

各モード共通のさらに便利な使い方

いろいろな機能を設定する

ご使用方法にあわせて、電話機のいろいろな機能を設定することができます。

- (メニュー)を押したときに表示されるメニュー項目は、＜メニューボタンで設定できる機能の一覧＞…(→126ページ)でご確認ください。
- 操作を途中でやめたいときは(☎)を押してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。(クリア)を押すと前の画面に戻ることができます。
- 登録操作中に電話がかかってくると登録は無効となり、着信音が鳴ります。通話が終わってからもう一度最初からやり直してください。

操作するときの音を消す(キータッチトーン)

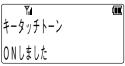
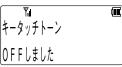
1 待ち受け状態で、(メニュー)(4タGHI)(1ア)の順に押して「キータッチトーン」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押してキータッチトーンの「ON/OFF」を選択します。

4 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

音を出したい場合

音を消したい場合

クイック通話

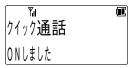
1 待ち受け状態で、(メニュー)(5ナJKL)(2カABC)の順に押して「クイック通話」を表示させます。

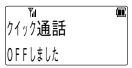
2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押してクイック通話の「ON/OFF」を選択します。

各モード共通のさらに便利な使い方

4 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合

解除した場合

ちょっと一言！

●クイック通話を設定したとき、電話を受けるときや切るときは以下の手順で行ってください。
1.電話がかかってきたときは、充電器から取り上げた後そのまま相手の方と通話してください。
2.通話が終わったらそのまま電話機を充電器に戻してください。自動的に通話が切れます。

●電話をかけるときに、充電器から取り上げた後(外線)を押さずにそのままダイヤルできるようにクイック通話を設定することもできます。この場合には電話機の工事でデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

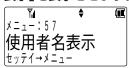
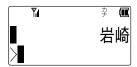
使用者名表示

1 待ち受け状態で、(メニュー) (5) (7)の順に押して「使用者名表示」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

3 現在登録されている名称が上段に表示されるので、(＊ロック)または(＃マナー)を押してカーソルを移動し、新しい名称を入力してください。

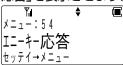
- <文字を入力する>…(→71ページ)

4 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言！

●待ち受け状態のとき、ディスプレイの中段に登録された名称が表示されます。

ダイヤルを押すだけで着信に応答する(エニーキー応答)

1 待ち受け状態で、(メニュー)(5ナJKL)(4タGHI)の順に押して「エニーキー応答」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

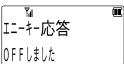
3 (▼)または(▲)を押してエニーキー応答の「ON／OFF」を選択します。

4 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合

エニーキー応答
ONしました

解除した場合

ちょっと一言！

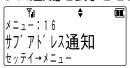
●エニーキー応答を設定すると、電話がかかってきたとき(0ワラン記号)～(9ワラWXYZ)、(＊ロック)を押しても、電話に出ることができます。

Note

●キーロック中にエニーキー応答はできません。キーロック中に着信応答するには(☎)を1秒押し続けます。

各モード共通のさらに便利な使い方

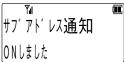
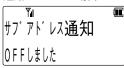
サブアドレスを通知する

1 待ち受け状態で、(メニュー)(1ア)(6ハMNO)の順に押して「サブアドレス通知」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押してサブアドレス通知の「ON／OFF」を選択します。

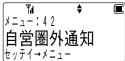
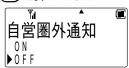
4 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

サブアドレスを通知したい場合

通知したくない場合

ちょっと一言！

●ISDNサブアドレスを通知するように設定すると、PHSサービスを利用してISDN端末に電話をかけるときに、電話番号とサブアドレスの間に(＊ロック)をダイヤルすることにより、サブアドレスを指定することができます。

自営圏外通知

1 待ち受け状態で、(メニュー)(4タGHI)(2カABC)の順に押して「自営圏外通知」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押して自営圏外通知の「ON／OFF」を選択します。

4 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合

自営圏外通知
ONしました

解除した場合

自営圏外通知
OFFしました

ちょっと一言！

●自営圏外通知を設定すると、構内モードで圏外へ移動したときにピー..ピー..ピー..という警告音で知らせることができます。

公衆のエリア内に入ったことを通知する（公衆圏内通知）

1 待ち受け状態で、(メニュー) (6 ハ MNO) (1 ア)の順に押して「公衆圏内通知」を表示させます。

公衆
メニュー：61
公衆圏内通知
セッテイ→メニュー

2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押して公衆圏内通知の「ON／OFF」を選択します。

4 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合

公衆
公衆圏内通知
ONしました

解除した場合

公衆
公衆圏内通知
OFFしました

ちょっと一言！

●公衆圏内通知を設定すると、公衆モード時にPHSサービスエリア内に入ったことをピピピピという音が3回鳴ってお知らせします。

Note

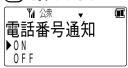
●公衆圏内通知は1回のみ行います。新たに通知を行いたいときは、もう一度設定を行ってください。

各モード共通のさらに便利な使い方

電話番号通知

1 待ち受け状態で、(メニュー)(6)(3)の順に押して「電話番号通知」を表示させます。

公衆
メニュー：63
電話番号通知
セッテイ→メニュー

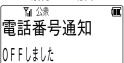
2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押して電話番号通知の「ON／OFF」を選択します。

4 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合

公衆
電話番号通知
ONしました

解除した場合

ちょっと一言！

●電話番号通知を設定すると、PHSサービスを利用して電話をかけたときに、相手方のPHS電話機などのディスプレイにこちらのPHSサービスの電話番号を表示させることができます。

公衆モード時ディスプレイ表示

1 待ち受け状態で、(メニュー)(6 ハ MNO)(4 タ GHI)の順に押して「公衆表示」を表示させます。

公衆
メニュー：64
公衆表示
セッテイ→メニュー

2 (メニュー)を押します。

公衆
公衆表示
PHS

3 現在表示されている名称が表示されるので、(＊ ロック)または(＃ マナー)でカーソルを移動し、新しい名称を入力してください。

- ＜文字を入力する＞…(→71ページ)

4 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言！

●公衆モードのとき、待ち受け状態のディスプレイの上段に登録された名称が表示されます。
●漢字入力はできません。

充電確認音

1 待ち受け状態で、(メニュー)(4 タ GHI)(3 サ DEF)の順に押して「充電確認音」を表示させます。

メニュー：43
充電確認音
セッテイ→メニュー

2 (メニュー)を押します。

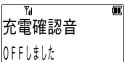
3 ▼または▲を押して充電確認音の「ON／OFF」を選択します。

4 (メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合

解除した場合

各モード共通のさらに便利な使い方

ちょっと一言！

●充電確認音は、本電話機が充電器に正しく置かれたことをお知らせするものです。

クイック発信保護

1 待ち受け状態で、(メニュー)(5)(3)の順に押して「クイック発信保護」を表示させます。

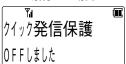
2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押してクイック発信保護の「ON／OFF」を選択します。

4 (メニュー)を押します。

• 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合

解除した場合

ちょっと一言！

●クイック発信保護をONにすると、電話機を充電器から取り上げた際、クイック通話による自動発信が行われた場合、その後約30秒間ボタンを押さないと自動的に回線が切れます。

データ着信音

1 待ち受け状態で、(メニュー)(3)(4)の順に押して「データ着信音」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

3 ▼または▲を押して音の種類を選択し(メニュー)を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言！

●データ着信音を設定すると、32Kデータ通信の着信音を指定した種類で鳴らすことができます。

●選択できる着信音は以下の通りです。
パターン1～6
メロディ1～5
ショウオン（着信音を出しません）

操作が分からないときは（ヘルプ表示）

DC-PS8の使い方を忘れたときにご利用ください。

1 待ち受け状態で、(メニュー)(9)の順に押して「ヘルプ表示」を表示させます。

2 (メニュー)を押します。

- 設定一覧を見たいときはさらに(メニュー)を押してから、▼または▲でスクロールさせて見てください。

3 ▼または▲でスクロールさせ、知りたい操作を探します。

ちょっと一言！

●設定一覧で設定項目を参照中に(メニュー)を押すことで、その項目を設定することができます。

メニューボタンで設定できる機能の一覧

登録操作は(ﾒﾆｭｰ)を押し、メニュー番号を入力して行いますが、(ﾒﾆｭｰ)を押したあと▼または▲を繰り返し押して目的のメニューを表示することもできます。

表　示	メニュー番号	機能の説明	初期値	ページ
自番号表示	0	電話番号の確認をします	–	29
時計アラーム設定	11	アラーム時刻を設定します	–	114
システム選択	12	システムを手動で切り替えます	–	33
モード切替	13	動作モードを切り替えます	ｼﾞｴｲ	28
マナー設定	14	マナー時の動作を設定します	(注1)	105
サブアドレス通知	16	サブアドレス通知を設定／解除します	OFF	120
Trグループ登録	17	トランシーバグループを登録します	–	69
ダイヤルロック	21	ダイヤルロックを設定／解除します	OFF	110
電話帳ロック	22	電話帳ロックを設定／解除します	OFF	112
電話帳全消去	23	電話帳をすべて消去します	–	82
バイブレーション	31	バイブレーション着信を設定／解除します	OFF	104
鳴音種別選択	32	着信音のパターンを切り替えます	–	103
データ着信音	34	データ着信音を設定／解除します	–	124
キータッチトーン	41	キータッチトーンを設定／解除します	ON	117
自営圏外通知	42	自営圏外通知を設定／解除します	OFF	120
充電確認音	43	充電確認音を設定／解除します	ON	123

表　示	メニュー番号	機能の説明	初期値	ページ
時刻設定	51	日付と時刻を設定します	–	31
クイック通話	52	クイック通話を設定／解除します	OFF	117
クイック発信保護	53	クイック発信保護を設定／解除します	OFF	124
エニーキー応答	54	エニーキー応答を設定／解除します	OFF	119
暗証番号登録	55	暗証番号を登録します	–	108
トランシーバ番号	56	トランシーバ番号を設定します	–	66
使用者名表示	57	使用者名を設定します	–	118
電話帳グループ名	58	電話帳グループ名を設定します	–	84
公衆圏内通知	61	公衆圏内通知を設定／解除します	OFF	121
電話番号通知	63	電話番号通知を設定／解除します	ON	122
公衆表示	64	公衆表示を設定します	–	123
ヘルプ表示	9	ヘルプを表示します	–	125

(注1)　着信音　OFF
確認／警告音　OFF
バイブレーション ON

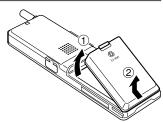
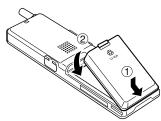
● PHSの加入契約をされていない場合は、メニュー番号61～64のメニューは表示されません。
● 「Trグループ登録」はトランシーバモード時のみ表示されます。

電池パックの取り扱い

電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回の使用時間が短くなっていきます。十分に充電しても使用時間が極端に短くなった場合は、新しい電池パック(オプション)に交換してください。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

電池パックの交換

1 電源が入っているときは、電源(☎⓪)を3秒以上押して電源を切ります。

2 電池パックを取り出します。

3 電池パックを装着します。

4 充電器に置き、10時間以上充電します。

Note

- 電話機の充電ランプは充電がほぼ終了すると緑色の点灯に変わります。
- 充電中は充電器や電話機があたたかくなることがありますが故障ではありません。
- 充電中は電話機の電源を入れることはできません。電話機を充電器から取り上げて電源を入れて下さい。
- 電話機の電源が入っているときは、充電完了まで通常より長くかかる場合があります。

お願い

- 電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。
- はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは必ず10時間以上充電してください。
- 電話機および充電器がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取り十分乾かしてから充電してください。
- 充電は周囲の温度が5℃～35℃の環境で行ってください。5℃未満や35℃を超えるときは正しく充電できないことがあります。

●充電が正しく行われていないと、電話機の充電ランプが赤く点滅します。このときは電話機を充電器に正しく置き直してください。また電池が古くなったり壊れたりしているときにも赤く点滅します。このときは電池パックの交換が必要です。お買い求めの販売店にお申し付けください。
●電池残量が極めて少ない場合は、充電器に置いても充電ランプが点灯しないときがあります。電池が古くなったり壊れたりしていなければ約5分ほどで充電ランプが点灯します。
●電池パック端子の汚れが原因となり、接触不良により電源が切れる場合があります。このときは端子部を乾いた綿棒や柔らかい布などで清掃してください。また、端子部を触ると汗などで汚れる可能性があるためご注意ください。
●電池パックの使用条件により、また、充電の繰り返しにより寿命が近づくと電池パックが膨れる場合がありますが、リチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
●電池パックは消耗品です。１回の充電で使用できる時間が短くなった場合は、寿命が近づいていますので、早めに交換することをお勧めします。

⚠危険

●電池パックについて

電池パックの取り扱いの際には次の点にご注意ください。
- 充電には専用充電器を使用してください。
- 火の中に投入したり、加熱しないでください。
- 指定の電話機以外にはご利用になれません。

電池パックのリサイクルについて

この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
交換後不要になった電池、および使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、電池端子を絶縁するためにテープを貼るか、ポリ袋に入れてお買い求めの販売店にお渡しくださるか、リサイクル協力店にある充電式電池回収ＢＯＸに入れてください。

Li-ion

リサイクル協力店のお問い合わせ先
- 製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
- (社)電池工業会小形二次電池再資源化推進センター
  および充電式電池リサイクル協力店くらぶ　事務局

リサイクル時のご注意
- 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
- 外装カバー(被覆・チューブなど)をはがさないでください。
- 電池を分解しないでください。

電池の残量がなくなったときは

電池がなくなるとピ....ピ....ピ....…という警報音が鳴り、ディスプレイの□マークが点滅します。

（対処方法）　電話機を充電してください。
<電話機を充電する>…(→21ページ)

ｼﾞｭｳﾃﾞﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ

通話中の場合、すみやかに通話を終わらせて電話機を充電してください。

ちょっと一言！

●通話中に警報音が鳴ってもそのまま通話を続けると、約1分で電話が切れてしまいますのでご注意ください。（電池の状態や周囲の温度などによってはそれよりも短い時間で切れてしまうこともあります）
●電池の状態や周囲の温度などの影響で、ディスプレイの■マークでまだ残っているように見えても電池切れの警報が鳴ることがあります。
●警報音が鳴り始めてから約1分で使用できなくなりますが、それ以降も「ジュウデンシテクダサイ」は、しばらくの間表示されます。
●電話機の充電を行い、一定の電圧に達した場合に「ジュウデンシテクダサイ」表示は消えます。再度お使いになるときは、電源(☎⏻)ボタンを2秒以上押して、電源を入れてください。
●使用中に電池残量がなくなった場合には、警報音とLCD表示(「ジュウデンシテクダサイ」)により充電が必要であることをお知らせします。ただし、設定により警報音が鳴らない場合がありますのでご注意ください。
「マナーモード」時の警報音はマナー設定(メニュー番号：14)の項目で鳴らすことができます。
(通話中等はLCD表示が見えませんのでご注意ください。)
・はじめてお使いのときは、マナー設定の「確認／警告音」はOFFになっています。
・「マナーモード」時に警報音を鳴らす場合は「確認／警告音」をONとしてください。

通話できる範囲から外れたときは

待ち受け中や電話をかけようとしたとき

- 通話できる範囲から外れるとディスプレイの 📶 マークが消えます。
  このようなときは 📶 マークが表示されるまで移動して、かけ直してください。

通話中のとき

- 通話できる範囲をはずれると、プープープー．．．という警告音が鳴ります。または相手の声が聞こえなくなります。
- このようなときは、警告音が鳴らなくなる所（電波の強い場所）まで移動してください。

ちょっと一言！

●圏外ではないのに電話をかけようとしてもプー..プーという音がして電話をかけられないのは…
- 他の電話機が基地局のチャネルをすべて使ってしまっていて、空いているチャネルが無いときにはディスプレイに「混み合っています」と表示され、プー..プーという話中音が聞こえます。このようなときは、しばらく待ってからかけ直してください。
- 電波が強い場所でも電話機が自動的に構内基地局や公衆基地局などに登録動作を行っているため、（☎）やダイヤルボタンを押しても受け付けられない場合があります。このようなときは、しばらく待ってからかけ直してください。

●通話中に圏外になったときは、警告音が鳴った後、電話が切れますのでご注意ください。
●コンクリートパネル板で仕切られている場所など、周囲の状況によって通話できる範囲が狭くなることがあります。
●警告音が鳴っているときは通話することができません。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

基本動作

こんなときは	原　　因	確認してください	参照ページ
電源が入らない	☎ボタンを2秒以上押していない	☎ボタンは2秒以上押してください	21
	バッテリ切れになっている	電話機を充電してください	21, 130
	電池パックが正しく装着されていない	電池パックを正しく装着してください	21, 128
電源が勝手に切れる	電池パック端子の汚れ	接触不良により電源が切れる場合があります。端子部を乾いた綿棒や柔らかい布などで清掃してください。端子部を触ると汗などで汚れる可能性があるためご注意ください。	128～129
動作しない	停電のため	故障ではありません	―
電話をかけられない	サービスエリア外にいる	サービスエリア内に移動してください	20, 131
	モード設定が異なっている	正しいモードに切り替えてください	26～28
	キーロックが設定されている	キーロックを解除してください	107
	ダイヤルロックが設定されている	ダイヤルロックを解除してください	111
	回線がいっぱいになっている	少し待ってからかけ直してみてください	―
	高速で移動しながら電話をしている	本電話機は乗り物などに乗って高速で移動しているときは使用できません。停止してかけ直してみてください	8
電話帳が使えない	電話帳ロックが設定されている	電話帳ロックを解除してください	112
通話が突然切れた	サービスエリア外に出てしまった	サービスエリア内に戻ってかけ直してください	20, 131
	電波の届かない場所に入った	電波の届く場所に移動してかけ直してください	20, 131
	電池が残り少なくなった	電話機を充電してかけ直してください	21, 130
通話に雑音が入ったり通話が途切れる	PHSの公衆基地局や構内用の基地局から離れすぎている	基地局に近づいて通話してください	20, 131
	サービスエリア内でも電波の弱いところにいる	電波の強い所に移動して通話してください	8,20,131
	近くに雑音を発生する家電製品やOA機器がある	それらの機器からできるだけ離れて通話してください	9
	PHSの公衆基地局や構内用の基地局との間に障害物がある	できるだけ障害がない所へ移動して通話してください	8
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください	100
	耳がきちんと受話口に当たっていない	耳をきちんと受話口に当てるようにしてください	―

こんなときは	原　　因	確認してください	参照ページ
会話中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定しすぎている	受話音量を下げてみてください	100
無線機の音が混信して聞こえる	近くに無線機などがある	場所を変えて通話してください	9
通話中にピーピーという警告音が聞こえる	電池の残量が少なくなっている	電池警報です。電話機を充電してください	130
	近くの基地局へ切り替えを行っている	ゾーン切り替えです 頻繁に聞こえる場合は場所を変えて通話してください	131
	トランシーバモードで３分間以上通話している	３分ごとの切り替え音です 故障ではありません	66
移動中にピーピーという警告音が聞こえる	基地局のサービスエリア外に出た	圏外警報です お使いになるときはサービスエリア内に戻ってください	131
着信音が鳴らない	不在転送が設定されている	不在転送を解除してください	53
	着信拒否が設定されている	着信拒否を解除してください	52
	着信音量をOFFに設定している	着信音量設定を小中大のいずれかに替えてください	102
	モード設定が異なっている	正しいモードに切り替えてください	26～28
	電池残量が少なくなっている	電話機を充電してください	21, 130
	基地局のサービスエリア外にいる	サービスエリア内に移動してから操作してください	8,20,131
着信音が小さい	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください	102
着信音が大きすぎる	着信音量を大きく設定しすぎている	着信音量を下げてみてください	102
充電器に置いても充電ランプが点灯しない	充電器の電源プラグがはずれている	電源プラグをきちんと差し込んでください	21, 22
	充電器に正しく置かれていない	正しく充電器に置いてください	21, 22
	充電器の電源コードが傷んでいる	電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご連絡ください。	5
電話機を10時間以上充電してもすぐに使えなくなる	充電器に正しく置かれていない	正しく充電器に置いてください	21, 22
	電池が消耗している（電池の寿命）	電池パックを交換してください	21, 128
集合充電器で電池パックを1.5時間以上充電してもすぐに使えなくなる	電池パックが充電器に正しく装着されていない	電池パックを正しく充電器に装着してください	22, 23
	電池が消耗している（電池の寿命）	電池パックを交換してください	22 ,23, 128
電話機の充電ランプが赤く点滅（1秒）する	充電器に正しく置かれていない	正しく充電器に置いてください	19, 21, 22
	電池が消耗している（電池の寿命）	電池パックを交換してください	19, 21, 128
電話機の充電ランプが赤く点滅（0.5秒）する	電話機の周囲の温度が5℃未満または35℃を超えている	電話機の周囲温度が5℃～35℃か確認してください	19, 21, 22

故障かな？と思ったら

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
集合充電器の充電ランプが赤く点滅（1 秒）する	電池パックが充電器に正しく装着されていない	電池パックを正しく充電器に装着してください	19, 22, 23
	電池が消耗している（電池の寿命）	電池パックを交換してください	19, 22, 23, 128
集合充電器の充電ランプが赤く点滅（0.5 秒）する	集合充電器の周囲温度が 10℃未満または 35℃を超えている	集合充電器の周囲温度が 10℃～35℃か確認してください	19, 22, 23
さわるとあたたかい	充電されたため	故障ではありません	22, 23
相手に声が通らない	スピーカがオンになっている	スピーカをオフにしてください	99

公衆モード

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
動作しない	ＰＨＳサービスの公衆基地局から離れすぎている	ＰＨＳサービスエリア内に移動してください	8,20,131
電話がかけられない	ＰＨＳサービスの公衆基地局から離れすぎている	ＰＨＳサービスエリア内に移動してください	8,20,131
着信音が鳴らない	ＰＨＳサービスの公衆基地局から離れすぎている	ＰＨＳサービスエリア内に移動してください	8,20,131
	公衆モードに設定されていない	公衆モードに設定してください	26～28
通話に雑音が入ったり通話が途切れる	ＰＨＳサービスの公衆基地局から離れすぎている	ＰＨＳサービスエリア内に移動してください	8,20,131
	ＰＨＳサービスの電波の弱いところにいる	電波の強いところに移動してください	8,20,131
	ＰＨＳサービスの公衆基地局との間に障害物がある	できるだけ障害がない所へ移動して通話してください	8,20,131

トランシーバモード

こんなときは	原　因	確認してください	参照ページ
他の電話機を呼び出せない	トランシーバモードに設定されていない	両方の電話機をトランシーバモードに設定してください	26～28 66
	呼び出す方と呼び出される方が離れすぎている	見通し距離で約 100 m以内に近づいてください	66
	トランシーバ通話の内線番号や登録が合っていない	トランシーバ通話の内線番号をもう一度登録してください	66

こんな音がしたら

受話口から出る音

種　別	音	こんな状態のときに聞こえます
内線ダイヤルトーン	プー…または プープープー・・・・・	構内モードまたはトランシーバモードで(☎)を押し、ダイヤルができるとき
公衆ダイヤルトーン	プー・・・・・・・・・・	公衆モードで(☎)を押し、ダイヤルができるとき
ビジートーン （話中音）	プー..プー・・・・・・・	ダイヤルした相手が通話中のときやチャネルビジーのとき
相手呼出中音	プルプルプル..プルプルプル・	相手を呼び出しているとき 構内モードとトランシーバモードとでは音が少し異なります
公衆保留音	ププッ..ププッ・・・・	公衆モードで[保留]ボタンを押し、通話相手を保留しているとき
ゾーン切替音	プープープー・・・・・	基地局の切り替えを行っているとき
通話休止予告音	プー（約１秒間）	トランシーバモードで通話中、約３分ごとに聞こえます この音が聞こえると約20秒後に約７秒間通話が途切れます
通話休止中音	プープー..プープー..・・ （約７秒間）	トランシーバモードで通話中に3分ごとに約７秒間聞こえます
接続中音	プププププププ・・・・・	公衆モードで電話をかけたとき、相手を呼び出すまでの間聞こえます

スピーカ口から出る音

種　別	音	こんな状態のときに鳴ります
圏外警報音	ピー..ピー..ピー	サービスエリア外に移動したとき
電池残量警報音	ピ....ピ....ピ....・・・・	電池残量が規定値以下になったとき
確認音	ピピ	登録操作がうまくできたとき
警告音	ピピピピピ	登録操作がうまくできなかったとき
内線着信音	ﾋﾟﾋﾟﾋﾟ・・・ﾋﾟﾋﾟﾋﾟ・・・	内線電話機からの呼び出しのとき
外線着信音	ﾋﾟﾋﾟﾋﾟﾋﾟﾋﾟﾋﾟﾋﾟﾋﾟﾋﾟﾋﾟ・・・・	外線からの呼び出しおよび公衆モードでの呼び出しのとき
トランシーバ着信音	ﾋﾟｰ..ﾋﾟｰ..ﾋﾟｰ..ﾋﾟｰ..・・・	トランシーバモードの呼び出しのとき
電源投入確認音	ピー	電源を入れたとき
キータッチトーン	ピッ	ボタンを押したとき
転倒発報予告音	ﾋﾟｰﾋﾟﾋﾟ・・・ﾋﾟｰﾋﾟﾋﾟ・・・	転倒を検出してまもなく転倒発報を開始するとき
転倒発報音	ピッ・・・・ピッ・・・・	転倒発報中のとき

オプション

● 皮ケース

【ベルトタイプ】
（DC-PS8カワケース）

【フックタイプ】
（DC-PS8フックタイプ式カワケース）

Note

●皮ケースを装着した場合、スピーカ音量が小さくなります。

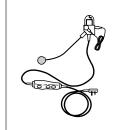
● 電池パック
（DC-PS8デンチパック）

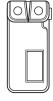
● 充電器
（DC-PS8ジュウデンキ）

● 集合充電器
（DC-PS8シュウゴウジュウデンキ）

電源アダプタ
（HL-12/3-10E4LA）

リモコンボックス・アセンブリー体型

●ヘルメット取付型※1
（DC-AS-HA1）

●ブローチ型
（DC-AS-BC1）

●DC-AS-BC1皮ケース

リモコンボックス・アセンブリセパレート型※2

●リモコンボックス
(DC-RCB1(S)/
DC-RCB1(L))

●ブローチ型
(RC-BCS1(S)/
RC-BCS1(L))

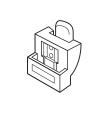
●ヘルメット取付型
(RC-HLD1(S)/
RC−HLD1(L))※1

●ヘッドホン型
(RC-HDS1(S)/
RC-HDS1(L))

●首掛け型
(RC-NCD1(S)/
RC-NCD1(L))

アセンブリ

●タイピン型
(DC-PS8-TPM-1)

アクセサリ

●ヘルメット
アタッチメントA

●イヤホン
(PR-17C)

●耳掛け型イヤホン
(DC-PS8-MP-814(IW))

※1　必ずヘルメットアタッチメントAを併用してください。
※2　必ずリモコンボックスとアセンブリを併用してください。

主な仕様

		電話機本体	充電器	集合充電器
寸法・質量		48mm(幅)×22.5mm(奥行)×135mm(高さ)(アンテナおよび突起部を含まず) 約130g(電池パックを含む)	73mm(幅)×80mm(奥行)×52.4mm(高さ) 約120g(電源コード含む)	220mm(幅)×100mm(奥行)×28.4mm(高さ)(本体のみ、突起部を含まず) 約280g(本体のみ)
使用電源		専用リチウムイオン電池 DC3.7V　1150mAh	AC100V，50/60Hz	AC100V、50/60Hz(専用電源アダプタによる)
消費電力		約0.4VA	約4VA	約43VA
環境条件	温度	–10〜+50℃	+5〜+35℃※	+10〜+35℃※
	湿度	10〜90%	10〜90%	10〜90%

※DC-PS8電池パック充電時の温度です。

●仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

電池使用可能時間の目安

一度も通話や操作をせずに、連続して待ち受け状態を保った場合を連続待ち受け時間、ずっと通話だけを行った場合を連続通話時間といいます。

条　件		使用可能時間
モード	連続	
公衆モード	通話	約10時間
	待ち受け	約480時間
トランシーバモード	通話	約10時間
	待ち受け	約190時間
デュアルモード	通話	約10時間
	待ち受け	約260時間
構内モード	通話	約10時間
	待ち受け	約390時間

●電池の使用可能時間は、電波が安定している場所における算出値です。電波の弱い場所での通話や電波の届かない場所では電池の消耗が多いため、表中の表示は短くなります。
●電池の劣化度や充電状態、使用環境によって、表中の時間は短くなります。
●実際にご使用になれる時間は、待ち受け時間と通話時間などの組み合わせになりますので、発信・着信があったり、通話時間や移動することが多い場合は短くなります。
●構内モードの待ち受け時間は主装置により異なります。

アフターサービスについて

● この商品には保証書があります。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
なお、以下の記載内容について特にご確認ください。

- お買い求めの日が記載されていること
- お客様のご住所とお名前が記載されていること
- 販売店の住所と名前が記載されていること

● 保証期間はお買い求めの日から1年間です。

なお保証期間中でも有償になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。
消耗品(電池パックなど)は保証期間内でも有償扱いとなります。

● アフターサービスはお買い求めの販売店、もしくは工事店が行います。

万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

● 修理およびオプション品の入手はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

修理およびオプション品の入手はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご相談ください。
販売店へのご相談ができない場合には、岩崎通信機お客様相談センタにご相談ください。

<お客様相談センタ：0120-186102>

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有償で修理させていただきます。修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料：故障した製品を正常に修復するための作業にかかる費用です。
部品代：修理に使用した部品代金です。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

ただし、商品の機能が維持できるかお電話で判断できない場合にはご希望により出張し、判断させていただきます。その結果、修理しても商品の機能が維持できないとした場合でも有償となる場合がありますのでご了承ください。

• 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後、7年を目安に保有しています。この期間中は原則として修理をお受け致します。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

• 電子情報の消去について

お客様または第三者等が本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのときに、まれに記憶内容が変化および消失することがあります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。記憶内容が変化および消失したことによる損害については、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

このたびはデジタルコードレス電話機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後も本商品のそばなど、いつもお手元に置いてお使いください。

ご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様相談センタへお気軽にご相談ください。

＜お客様相談センタ: 0120-186102＞

電池パックはリサイクル可能なリチウムイオン電池です。
交換の際には弊社窓口へご持参いただくか、弊社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

お客様メモ

お買い求めになった年月日、店名等をご記入ください。 修理を依頼される時やお問い合わせの時に大変便利です。	
設置年月日	年　　　　月　　　　日
設置店名 住所 電話番号	